

申請者	大阪府					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	89,388千円 (29,796千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	中小企業における慢性的な人手不足を緩和していけるよう採用力の向上を促すとともに、若者に対しても企業で活躍できるスキルを身に付け、府内中小企業への就職志向の変容を促していくことで、これからの大阪を担える若者を増やしていき、活気あふれる「大阪」の実現をめざす。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 次の①～③により学生・企業・大学に対して支援を実施し、府内中小企業の人手不足解消を図るとともに、本事業の終了後にも支援の枠組みが継続されるよう、府内大学による支援の自立化をめざしていく。 ①学生に対するキャリア形成支援および府内企業とのマッチング支援 ②府内企業に対する若者の採用支援およびマッチング支援 ③大学に対する府内企業とのマッチング支援および未就職学生を減らすためのキャリア支援手法の確立支援						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・学生に対するキャリア形成支援および府内企業とのマッチング支援（委託料）12,150千円 ・府内企業に対する若者の採用支援およびマッチング支援（委託料）12,900千円 ・大学に対する府内企業とのマッチング支援および未就職学生を減らすためのキャリア支援手法の確立支援（委託料）4,746千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①府内企業に就職した学生の数（+1,200人） ②本事業に参加した学生数（+5,900人） ③新卒採用等、若者の採用力強化に取り組む（取組む予定の）府内企業数（+900社） ④本事業に参加した企業数（+1,440社） ⑤連携大学数（+45校）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.osaka.lg.jp/o020040/kikaku_keikaku/tihou-sousei/index.html

事業概要：ディープテックスタートアップ事業化特別推進事業

継続

申請者	大阪府					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	420,871千円 (146,974千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	再生医療をはじめとした未来医療の産業化拠点「中之島クロス」発の有望なスタートアップの輩出及びグローバルでの活躍による、中之島クロスの国際拠点化の実現（万博のレガシー）に加えて中之島クロスを中心とした地域のスタートアップエコシステムの確立をめざす。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 事業化支援プログラムを通じて、優れたシーズを事業化、グローバルに活躍できる人材を育成し、シーズを保有する研究者が内外の投資家、医療関係者、事業会社等と交流するセミナーやワークショップ等の開催により、事業化を進められるメンターや事業会社とのコミュニティを形成し、事業前から人脈形成を構築・強化する。また、事業化に欠かすことができない、資本政策の理解に係るプログラムと戦略策定のためのメンタリングを実施するなど、有望シーズの起業までを一気通貫して支援する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・有望シーズの事業化支援プログラムの実施（委託料）110,129千円 ・研究者と支援者・事業会社を繋ぐイベントの実施（委託料）16,794千円 ・資本戦略策定支援プログラムの実施（委託料）20,051千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本プログラムを通じてプロジェクト化した後の起業社数（+8件） ②グローバルな展開を視野にした有望シーズの事業化（ビジネスプランの作成）（+18回） ③事業を通じたコミュニティへの参加者数（+300者） ④事業化支援プログラムへの参加者数（+600者） ⑤ワークショップ等イベントへの合計参加者数（+600者） ⑥資本戦略策定プログラム支援者数（+20者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.osaka.lg.jp/o020040/kikaku_keikaku/tihou-sousei/index.html （効果検証） https://www.pref.osaka.lg.jp/o020040/kikaku_keikaku/tihou-sousei/index.html

事業概要：中之島クロス グローバルスタートアップ創出・拠点化推進事業

継続

申請者	大阪府					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	588,875千円 (189,371千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	中之島クロスにおいて、グローバルに活躍するスタートアップを生み出す特別プログラムの実施や、スタートアップ支援機関を集積させることで、独自のスタートアップ育成機能を展開する。そうすることで、未来医療のスタートアップを呼び込み、中之島クロスの未来医療拠点としての価値をさらに高め、内外に確固たる地位を確立する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中之島クロスに入居（入居予定含む）のライフサイエンス・ヘルスケア系スタートアップを、中之島クロス独自の特別プログラムにより徹底的に伴走支援し、グローバル展開へつなげる。また、中之島クロスで活躍するスタートアップ支援機関の集積と機能強化に向け、先駆的な支援メニューの提供や中之島クロスのスタートアップ支援拠点としての認知度向上等に取り組む機関を支援するとともに、資本戦略のうち出口戦略の事業構築支援も新たに実施し、有望なシーズの早期社会実装につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・グローバルスタートアップ創出支援事業（委託料）73,742千円 ・スタートアップ支援機能強化事業（委託料）115,629千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①海外市場開拓数（+6回） ②NQへの新規入居SU数（+45者） ③NQで活動するSU支援機関数（+3者） ④SUの資本戦略に関する支援プログラムを通じた支援者数（+20者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.osaka.lg.jp/o020040/kikaku_keikaku/tihou-sousei/index.html （効果検証） https://www.pref.osaka.lg.jp/o020040/kikaku_keikaku/tihou-sousei/index.html

申請者	大阪府					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	154,938千円 (49,929千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「傷みやすく輸送が困難」「鮮度が保持できない」等の理由でこれまで輸出が難しかった品目や、高価格販売が期待できるものの輸送距離が長い相手国について、新技術（冷蔵・冷凍技術等）を活用したサプライチェーンを構築し、輸出を促進することで、大阪農業のさらなる成長をめざす。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 万博を契機に来日する海外シェフ・食品商社等に対し府内産農産物をPRするとともに、大阪産(もん)のさらなる海外販路拡大を図るため、大阪産農産物について、新技術を活用した輸送試験、輸出商品の改良、試験販売等を実施する。具体的には、食材提案会の実施や商品形態・包装・表示等の実証、新技術を用いた輸送試験、試験販売の実施、テストマーケティングを行う。					新技術導入によるサプライチェーンの構築 <pre>graph TD; S[生産者] -- 農産物を出荷 --> JA[JA全農大阪等]; JA --> D[国内商社等]; D --> L[物流業者
(空運・海運)
(鮮度保持技術搭載コンテナ等で輸送)]; L --> O[海外バイヤー]; O --> R[現地日本食レストラン等];</pre>	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○輸出対象国の検疫等に適合した商品形態・包装・表示等の実証 ○新技術を活用したサプライチェーン構築への検討 ○試験販売の実施 (委託料) 49,929千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①海外向け市場販売価格（+4,606千円） ②新技術を活用したサプライチェーンが確立された品目数（5品目） ③新技術を活用したサプライチェーンが確立された国数（3か国）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.osaka.lg.jp/o020040/kikaku_keikaku/tihou-sousei/index.html （効果検証） https://www.pref.osaka.lg.jp/o020040/kikaku_keikaku/tihou-sousei/index.html

事業概要：水産業成長産業化事業

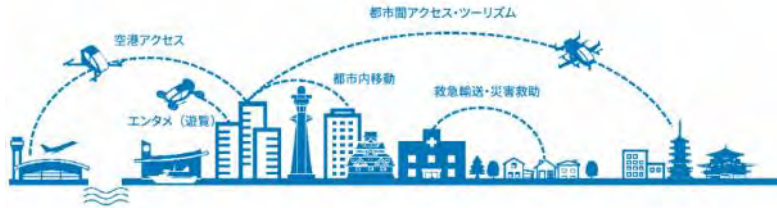
継続

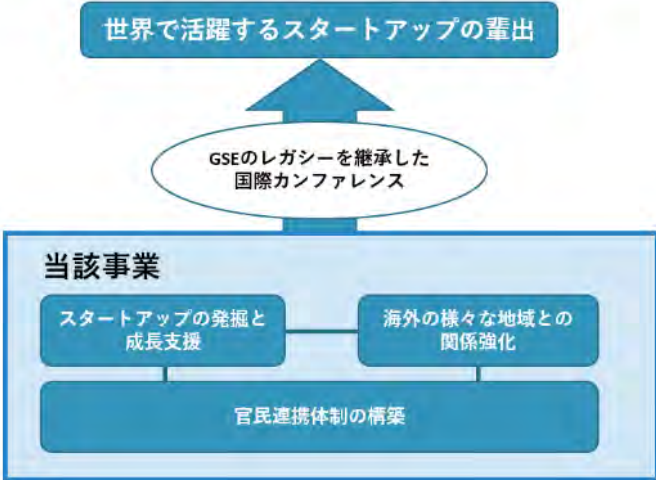
申請者	大阪府					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	37,024千円 (22,046千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・水産物の計画的・安定的な供給を可能とする養殖業への支援により、漁村の地域活性を図ることはもちろん、観光業への活性化にも寄与し、大阪府の更なる魅力向上につなげる。 ・養殖業への新規参入を促進させるとともに、新規参入者が事業継続はもとより、成長を加速化し、速やかに養殖ビジネスの拡大につなげていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大阪の海面漁業が頭打ちの状況の中、水産業の更なる成長のため、計画的な生産が可能な養殖業を推進し、将来的に漁村地域の活性化や観光コンテンツ等の創出にもつなげるため、本事業では、養殖業への新規参入を促進するための補助金や、新規参入者が事業継続はもとより、成長を加速化し、速やかに養殖ビジネスの拡大を図るための養殖マッチングプラットフォームを構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○養殖業新規参入補助事業 ・調査・研究費及び資機材導入費補助 （補助金）15,000千円 （報償費）30千円 ※審査会の委員報償費 ○養殖ビジネスマッチングプラットフォーム構築事業 ・コーディネーター関連経費（委託料）5,456千円 ・マッチングイベントの開催（委託料）560千円 ・養殖業に関する研修会の開催（委託料）1,000千円						
主なKPI	①養殖業産出額の増加（+39,000千円） ②新規事業数（補助金活用事業数）（+6事業） ③研修会実施回数（+4件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.osaka.lg.jp/0120130/suisan/jigohyouka/kouhukin.html

申請者	大阪府					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	871,097千円 (352,315千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・自動運転バスを導入することで、路線バスが廃止した南河内地域の足を確保し、地域の魅力を向上させる。 ・大阪・関西万博においてOsaka Metroが培った自動運転技術を万博レガシーとして活用することで、交流人口増加等、地域活性化、観光人数増加につなげていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 運転手不足など交通課題の解決に向け、令和5年に廃止された金剛バス運行エリアにおいて、自動運転バスの導入に向けたモデル事業として、自動運転バスの実証実験を実施し、府内市町村へ活用可能なモデルの確立を目指す。具体的には、リスクアセスメント等の調査をしたうえで、乗客乗車による実証実験を開始し、L4区間の拡大・高リスク区間への対応を行う。					 南河内新モビリティプロジェクト ▲実証実験のロゴマーク	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・自動運転バス運行関係 80,795千円 ・自動運転技術レベルアップのための車両調律 159,771千円 ・走行環境整備（路車協調等） 101,020千円 ・自動運転に対する理解促進等 10,729千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①令和9年度末での手動介入率10%（▲90%） ②乗車後の快適（安全）と感じる人の割合（+80%） ③機運醸成イベントにおける来場者アンケートで自動運転バスへの期待度（乗ってみたい）（+80%） ④地域住民が自動運転バスの走行を安全と感じる人の割合（+80%） ⑤実証実験時の1便（往復）あたり平均利用者数（+5人） ⑥事業への協賛企業募集（+4件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.osaka.lg.jp/020040/kikaku_keikaku/tihou-sousei/index.html

事業概要：空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業

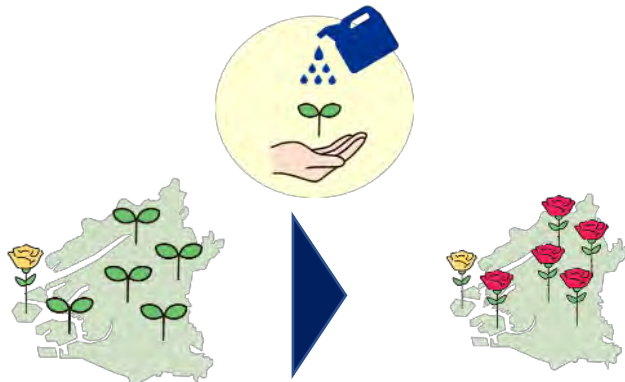
継続

申請者	大阪府					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,095,266千円 (173,264千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・空飛ぶクルマについて、観光分野をはじめとしたビジネス化に取り組むとともに、関西一円での運航ネットワークを形成することで、新たなサービスやビジネス創出を図り、大阪産業の成長につなげていく。 ・大阪・関西における運航ネットワークの形成により、空飛ぶクルマで世界をリードする都市として、商用運航の実現をめざす。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 万博でのデモフライト等の成果を踏まえ、全国に先駆けた大阪での商用運航の実現をめざし、離着陸場等の整備に向けた調査や観光需要の創出・拡大等に取り組む事業者への支援等を行う。また、R7年度の観光ルート開発に向けた調査結果をもとに、商用運航で想定される飛行ルートに関する調査を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・観光分野の運航拠点となる離着陸場等の整備に向けた事前の調査・検証への支援（補助金）30,066千円 ・空飛ぶクルマを活用した観光需要の創出・拡大に資するイベント等の開催への支援（補助金）120,066千円 ・商用運航で想定される飛行ルートでの課題の洗い出しや事業性の検証（委託料）23,132千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①ビジネスを展開する事業者数（+1件） ②離着陸場の整備件数（+1件） ③大阪ラウンドテーブル参画事業者数（+9者） ④観光商品の開発件数（+2件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.osaka.lg.jp/shigot-osangyou/kigyoushien/jisedai/index.html

申請者	大阪府、大阪市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	798,216千円 (266,072千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	万博で高まった世界の注目を維持・向上させ、国内外企業との協業機会や世界からの投資を呼び込むことで、大阪から世界で活躍するスタートアップを輩出する。スタートアップが創出するGDPを地域内に留めるため、有望企業の大阪での企業活動を維持することで、地域内での雇用創出や所得向上を図り、地域経済を維持・拡大させることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 Global Startup EXPO2025（GSE）のレガシーを継承した国際カンファレンスの開催機会を活かし、大阪府・市で連携して民間の海外展開支援の活動も呼び込み、恒常的な海外展開に向けた活動量を増加させるとともに、大阪のスタートアップや支援機関の海外マインドの醸成と海外進出支援及び海外機関との連携を促進する。これにより、国内外企業との協業機会や世界からの投資を呼び込む環境を構築し、大阪から世界で活躍するスタートアップを輩出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・海外支援機関との連携等によるスタートアップの海外展開機能の強化（スタッフ人件費等）107,093千円 ・グローバルに活躍するスタートアップの発掘と成長段階に応じた切れ目のない支援（イベント開催費等）109,009千円 ・官民連携体制の構築、国内外キーパーソンとの連携、活動プロモーションの実施（海外の活動等に知見を有する専門家の招聘等）49,970千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①ネクストユニコーン数（+2社） ②スタートアップの資金調達額（+960億円） ③海外機関との連携した取組み数（+60件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(大阪府) https://www.pref.osaka.lg.jp/o020040/kikaku_keikaku/tihou-sousei/index.html (大阪市) https://www.city.osaka.lg.jp/seisakukikakushitsu/page/0000348042.html

事業概要：先端的サービス創出促進支援事業

新規

申請者	大阪府、大阪府大阪市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	222,222千円 (74,074千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「2025年大阪・関西万博」が掲げた“People’s Living Lab（未来社会の実験場）”を「制度的インフラ」として発展的に継承し、“実証→実装（事業化）→域内定着”の好循環を生み、都市の成長力を回復させることで、①本社機能流出による都市中枢機能の弱体化、②独居高齢・高齢化による都市課題の増幅、③所得の相対低下による生活実感と人材定着の弱まり、という3課題の同時解決をめざす。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「2025年大阪・万博」が掲げた“People’s Living Lab(未来社会の実験場)”を発展的に継承する「制度的インフラ」を具体化するものとして、実証に協力する「実証フィールド」を大阪府・大阪府大阪市において認定し、取組事業者(スタートアップ・地域企業等)が実証に適した環境を確保できるようにするとともに、取組が実証で終わることなく実装まで到達できるよう(1)実施計画への伴走支援、(2)規制改革が必要な場合の法的サポート、(3)ブランディングサポートの3つの支援をパッケージで実施する。					【事業の狙い：イノベーションを確実に社会実装する都市機能を強化】 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・実証から実装、そして府域展開に係る伴走支援（委託料） 55,902千円 ・実装に必要な規制・制度改革に関する法的サポート（報酬） 3,485千円 ・取組の付加価値向上等を図るブランディングサポート（委託料） 14,687千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①創出された先端的サービスに係る域内付加価値増加額（+1.8億円） ②本事業に係る人口一人当たりの付加価値（労働生産性）増分（+20.4円） ③コンソーシアム組成等の複数の主体による共同プロジェクトの件数（+9件） ④新たな先端的サービスの実装件数（+11件） ⑤本事業において支援を行った取組事業者における新規雇用者数（+11人） ⑥本事業による新たな先端的サービスによりQOL向上が確認された利用者割合の増分（+186%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	R8年夏までに公表予定

申請者	大阪府					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	26,756千円 (7,956千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	大阪の施設園芸の主要品目（ぶどう・いちご・水なす・きくな）において、暗黙知となっている熟練農業者の高度な生産技術を、デジタル技術により新規就農者等に効率的・効果的に継承するとともに、産地内・府域内で共有・拡張し、新規就農者等の早期の生産性向上・安定、経営安定・発展を図り、人材育成の早期化を通じ、地場産業の付加価値向上を支援し、地域経済の維持及び拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 DXを活用し、デジタル映像化・整理合理化により技術を「見える化」し、効率的な継承を進める。属人的な技術を共有化し、ICT配信を通じて府内全体に展開、新規就農者や若手農業者などが「いつでも・繰り返し」学習できる環境を整備し、短期間での高度技術習得で生産性維持・向上を図る。					 【映像化】 ・処理適期 ・手さばき ・処理速度 ・面積あたり必要時間 などの高度「暗黙知」「身体知」要素 ↓ 熟練者の手法を映像化・整理合理化(見える化・体系化)し、府内配信の映像ライブラリーを構築 ライブラリー化 クラウド配信 (府内) 体系化・映像化した熟練の高度技術を府全体で共有・技術資源の広域的活用	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・映像制作経費（委託料）7,956千円 府内の施設園芸主要品目（ぶどう・いちご・水なす・きくな）の重要生産工程（R8予定：42工程）について、熟練農業者の高度技術をデジタル映像化、体系的に編集を行い、ICT配信を実施する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は 実施計画における 「KPI増加分の累計」 の目標値	①府内施設園芸（ぶどう、いちご、水なす、きくな）の生産額（20.6億円） ②就農5年以内で年間売上1,000万円到達者数（145人） ③延べ視聴回数（10,000回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年12月公表予定

事業概要：大阪産（もん）と地域資源を活用した新たな観光コンテンツ創出事業

新規

申請者	大阪府					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	115,000千円 (30,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・2025年大阪・関西万博を契機に今後増加が見込まれる来阪者需要を取り込み、大阪市内中心部から1～2時間圏内で、観光農園や古民家等の地域資源を有する農村部で新たな観光拠点を創出して「滞在型観光」を促進し、交流人口の拡大や地域の消費拡大につなげ農業の成長産業化を図る。 ・本事業では、将来にわたり取組に必要となる財源確保の仕組みの構築や、運営体制の整備を中心に実施し、交付金活用後は地域と民間事業者が連携し、すみやかに自立し、かつ持続的な取組となることを目指す。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 新たな観光拠点の創出に向け、古民家等の地域資源の活用手法について、地元自治体や住民、民間企業等とともに検討を行い、体制整備と計画策定等を実施する。（府内2カ所） ■R8年度（15,000千円×2カ所） 地域資源の活用手法の具体化に向けた体制整備と調査・検討 ■R9年度 新たなコンテンツづくり、既存コンテンツ強化、新規モデル地区の選定 ■R10年度 地域資源の活用計画策定、取組の具体化等					【活用・創出する地域資源のイメージ】  古民家の活用  観光農園  宿泊施設  農空間	
	【R8年度事業 経費内訳】 活用手法の具体化に向けた体制整備、調査・検討 30,000千円 ①新たな観光拠点の創出に向けた地域資源の調査、②取組の推進体制整備、③地域資源の活用素案作成						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①延べ宿泊者数の増加による経済効果（3,240万円） ②地域資源を活かした新たな観光コンテンツを創出する民間事業者数（3者） ③地域資源の活用計画策定（3件）					URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年12月公表予定

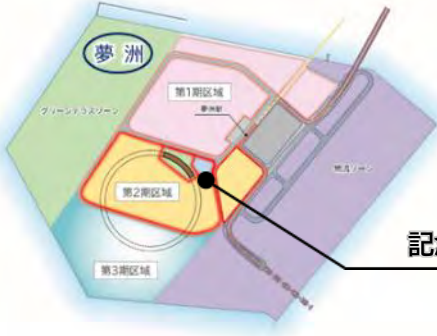
事業概要：大阪・関西万博レガシー継承による観光資源整備事業

新規

申請者	大阪府					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	128,688千円 (100,488千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	2025年大阪・関西万博を契機に今後増加が見込まれる来阪者の観光需要を獲得して交流人口の増加を図るため、観光資源が集中するエリア（河内長野市）の中核施設である「府立花の文化園」を、万博レガシーを含めた周辺施設の連携・情報発信の拠点となるよう整備・改修し、地域活性化による経済成長につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○万博トイレのリユース（新築） エリア観光の拠点施設である「府立花の文化園」のさらなる魅力向上を図るため、2025年大阪・関西万博内で使用されたトイレをリユースして移設し、周辺エリアと一体となった継続的なPRを行い、交流人口増加に向けた新たな地域資源として活用する。 ○エントランスゲート改修（模様替え） エリア内の周辺施設への回遊を促すため、府内産木材等を活用して花の文化園エントランスゲートを改修するとともに、情報発信機能を新たに設ける。					 花の文化園全体配置図 ■隣接する主な地域資源 ○農産物直売所…（あすかてくで河内長野店） ○林業総合センター（木根館）…森林等をテーマに学習・交流を実施 ○ふるさと歴史学習館…民俗・考古資料を展示する歴史展示施設	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・万博トイレのリユース（工事費）97,945千円 既設トイレの撤去、基礎・外構・インフラ改修、トイレ新設工事 ・エントランスゲート改修（委託費）2,543千円 府内産木材等を活用したエントランスゲート改修に係る実施設計						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①南河内エリアの滞在人口の増加（+10%） ②周辺地域（道の駅・農産物直売所）への誘客（+5万人） ③花の文化園入園者（R6比）増加数（+2万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年12月公表予定

事業概要：万博レガシーを継承した夢洲第2期区域のまちづくり

新規

申請者	大阪府大阪市、大阪府					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	75,000千円 (75,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・夢洲第2期区域において、大阪府・大阪市が中心となって整備を進める記念公園ゾーンのあり方を検討し、事業構想・基本計画素案を作成することにより、万博の理念を継承し、国際観光拠点形成を通じて「未来社会」を実現するまちづくりを推進する。 ・記念公園ゾーンの整備完了までの間も、万博レガシーの継承に向けた取組に関する情報発信を行い、大阪府への一定の来訪の創出や関心の維持向上・機運醸成を図りつつ、観光誘客の拡大や観光消費額の増加につなげ、将来的には人・モノ・投資の呼び込みによる地域経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 記念公園ゾーンにおいて、地方創生・産業振興に資する万博で披露された最先端技術やビジネス、文化、国際競争力を有する地元産業や企業の魅力発信に向け、スタートアップ等によるピッチイベントやビジネスセミナー、地場産業による技術・製品展示、発表イベント、多様な人材や分野が交わる交流機能などの空間やコンテンツを検討・立案し、広域的な交流と価値創出を生み出す「場」のあり方を整理する。また、記念公園ゾーンの事業構想・基本計画素案を情報発信するデジタル空間を「プレ情報発信ウェブサイト」として立ち上げ、継続的に情報発信を行う。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・記念公園ゾーンの事業構想・基本計画素案作成経費（委託料）74,545千円 ・基本計画立案の検討会における有識者の謝金（報償費等）455千円						
主なKPI	①大阪全体の観光消費額（来阪観光消費額）（+22,155億円 ※R13年度までに） ②プレ情報発信ウェブサイトの訪問者数（+1,000人） ③夢洲の地価上昇（+15千円/㎡）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：御堂筋の人中心の道路空間の利活用による地域経済の活性化と公民連携の新たな仕組み構築

新規

申請者	大阪府大阪市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	520,000千円 (170,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	大阪市では、2025年の大阪・関西万博に合わせて、「みちの未来体験EXPO」と題して、年3回にわたり御堂筋でみちから未来を体験できる新たな利活用の取組みを実施した。この取組みを万博レガシーとして毎年実施できるよう活用するとともに、公民協働で魅力的な道路空間を持続的に創出・運営していくため、2027年度の御堂筋完成90周年を契機として、道路空間の利活用による御堂筋のブランド力向上や協賛・協力による地域の収益確保を推進し、2028年度末にその仕組み構築を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 淀屋橋交差点から難波西口交差点までの区間で、沿道地域や企業、道路協力団体などと連携した大規模な道路空間の利活用社会実験を実施し、その波及効果や収益性を検証するとともに課題とその対応方策を踏まえ、道路空間の新たな利活用の仕組みを構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○御堂筋の人中心の道路空間の利活用による地域経済の活性化と公民連携の新たな仕組み構築（委託料） 170,000千円 ・沿道企業や道路協力団体などと連携した社会実験（道路空間を利用した大規模イベント等）の実施と検証、課題・対応方策の再検討と仕組み構築						
主なKPI	①御堂筋及びその周辺エリアにおける総滞在時間（（来街者数×滞在時間）（+350万人・時間）） ②御堂筋での高質化・賑わい創出の日数（（日数）（+3日）） ③御堂筋における来街者数（（来街者数）（+75万人））					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定 →現時点でHPが出来ていればURLの掲載をお願いします

事業概要： AI等先端技術を活用したビジネス創出プロジェクト

新規

申請者	大阪府大阪市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	333,873千円 (111,268千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	少子高齢化の進行や労働供給制約による人手不足・先端技術の急速な発展に伴う環境の変化等、社会課題の解決に向け、DXによる高効率化や生産性向上等に先端テクノロジーの活用が求められているため、AI等の先端技術を活用した革新的な新事業の創出を促進し、社会実装を加速させることで、社会課題の解決及び大阪経済の成長につながる好循環を作り出すことをめざす。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 咲洲地域の多様な主体と連携し、製品・サービス等の改良につながる展示や実証を行うことができる環境を整備するとともに、テクノロジービジネス支援の体制を生かし、インキュベーションオフィスに入居する有望な中小企業・スタートアップを中心に事業フェーズに応じた支援を行い、中小企業・スタートアップにおける対応期間や人的・経営資源等の投入を最小限とし、中小企業・スタートアップのAI等先端技術を活用したビジネスの創出を最大限サポートする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 大阪産業局事業交付金 111,268千円 「AI等先端技術を活用したビジネス創出プロジェクト」 ○最新の知識や技術を習得できるセミナーの実施 ○AI等を活用した新製品・サービスの開発経費の一部を補助 ○事業検証支援・マッチングの実施 ○開発した新製品・サービスの導入経費の一部を補助						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①AI等の先端技術を活用したビジネス創出件数（+11件） ②AI等の先端技術を活用したプロジェクト創出件数（+26件） ③AI等の先端技術を活用した実証実験支援件数（+38件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.osaka.lg.jp/keizaisenryaku/page/0000675268.html

事業概要：女性就職支援及び非正規雇用者の転職支援事業

旧制度（推進）

申請者	大阪府堺市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	51,670千円 (18,785千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	正しい職業理解により、ミスマッチを起こさない就職・転職支援を就業中の方や積極的な求職活動に至っていない方に利用してもらうため、平日夜間等も含めたいつでも気軽に活用できる相談対応を実施することで、女性をはじめとした多様な人材の活躍を図るとともに、希望する雇用形態や賃金で働けていない方が増収等を図り、各人が望む待遇で働く社会の実現をめざす。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 子育てや介護などでキャリアにブランクがあり、精力的な就職活動ができていない女性や希望せず非正規雇用で働いている方に対し、平日夜間帯等でもオンライン等で気軽に利用できるキャリアコンサルティングや独自に開拓した求人を活用した職業紹介等の就職支援を実施する。併せて、企業へは上記職業紹介で活用する求人開拓等を通じた人材確保支援を実施する。		夜間と休日の就職相談が充実しています！ キャリア ナビ さがし
	【R8年度事業 経費内訳】 ○女性就職支援及び非正規雇用者の転職支援事業 (委託料) 18,785千円 ・未就労女性及び非正規雇用者を対象に「キャリアコンサルティング」を実施 ・市内事業所を対象に、女性活躍事例などを共有し、意識啓発を行うとともに、未就労女性及び非正規雇用者等の求人開拓を実施		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数 (+5,100人) ②キャリアコンサルティング件数 (+2,100件) ③求人開拓件数 (+700件) ④企業商談件数 (+510件)		URL ※交付金の具 体的使途・実施 体制・効果検証 の結果及び改善 方策への反映が 記載されている URL https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/gyosei/shishin/shisei/senryaku/75027220210402131206568.html

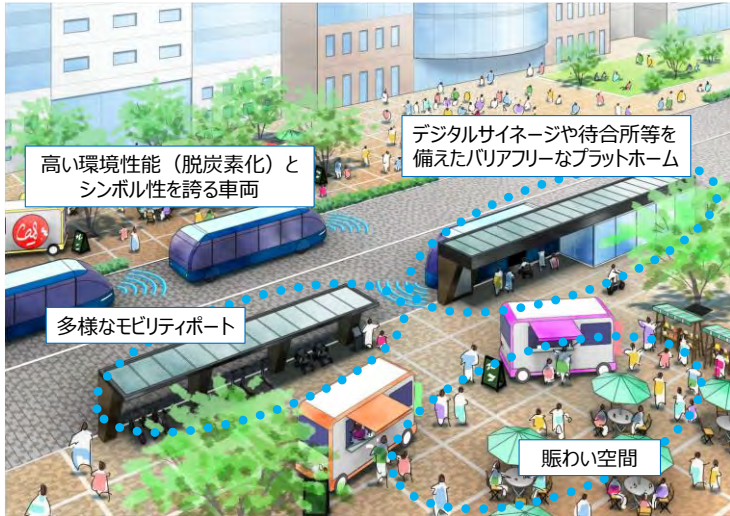
事業概要：育成から成長までイノベーション創出連続支援事業

継続

申請者	大阪府堺市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	51,000千円 (17,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・こどもたちへのゲーミフィケーションによるアントレプレナーシップ醸成プログラムや堺発イノベーションの体験の提供を通じ、未来のイノベーションの担い手を育成する。 ・社会課題解決に挑戦する事業者の事業構築や成長を支援することで、堺・中百舌鳥発の連続的なイノベーション創出を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 これまでの取組の検証結果や令和6年に試験的に実施した事業から得たロジックモデル構築やT o Cなど社会課題解決型事業構築の知見を踏まえ、将来の起業家層の拡大から事業創出、成長へつなげるため、それぞれのステージに応じた最適な支援プログラムを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・アントレプレナーシップ教育プログラム 実施委託料 3,000千円 ・市民向けPRイベント企画運営業務 イベント実施委託料 1,000千円 ・社会的インパクト創出につながるアクセラレーション業務 支援プログラム実施委託料 6,000千円 ・さかいスタートアップアクセラレーション業務 販路開拓支援、資金調達・資本政策・知財等法務知識獲得支援プログラム実施委託料 7,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①売上向上や雇用拡大等、事業成長した事業者数 (+7者) ②社会課題解決(インパクト)型事業新規創出数 (+22事業) ③支援プログラム提供回数 (+48回) ④支援プログラム参加事業者数 (+102者)					URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/nakamozu-innovation/index.html (効果検証) https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/gyosei/shishin/shisei/senryaku/75027220210402131206568.html

事業概要：堺都心部の活性化及び便利・快適な移動環境の構築事業

継続

申請者	大阪府堺市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	399,051千円 (189,073千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人中心の都市空間の形成や、道路や公園などのストック（公共空間）の活用、地域の民間事業者や各種団体との連携により、「堺都心部の目的地化や来訪魅力の創出」を図ることに加え、堺都心部の東西の拠点を結ぶ交通軸や市域東部と結ぶ広域交通軸の強化、きめ細やかな来訪者ニーズに対応した次世代モビリティの活用など、「便利・快適な移動環境の構築」を図ることにより、来訪者数の増加等を図り、まちの活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 堺都心部の歴史文化資源等を活用した魅力創出や道路・公園等の公共空間の利活用、消防署跡地における公民連携による集客施設の整備などの魅力創出の取組に加え、堺都心部の骨格を形成する交通軸における利便性向上、堺都心部と市域東部を結ぶ広域交通軸の構築、次世代モビリティを活用した移動環境の構築などを推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○公共交通と地域をつなぐ拠点の創出 ・停留所付近における待合・休憩スペース及び情報発信強化実験（委託料） 57,418千円 ○堺都心部における交通軸の強化 ・自動運転バス走行実験及び正着（バリアフリー乗降）実証実験（負担金等） 131,655千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①堺都心部への来訪者数（拠点駅の乗降客数）（+1,725人） ②自動運転バスの実装に係る関係人口（+111人） ③市域東部から堺都心部へ訪問する回数が増えた若しくは初めて訪問した人の割合（+11%） ④バス利用環境が向上したと感じる人の割合（+85%） ⑤施策に対して共感する市民等の割合（+3%）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/smi_project/index.html

事業概要：社会課題解決型事業の地域実装に向けたオープンイノベーション促進事業

新規

申請者	大阪府堺市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	15,000千円 (5,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域発の新しいビジネスモデルや社会課題解決型事業の社会実装による地域課題の解決をめざす。 ・オープンイノベーションを促進することで事業者や地域住民など多様なステークホルダーによる共創の取組が生み出される。 ・連続的なイノベーションの創出により地域の活力向上及び持続可能な地域が実現される。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域発の新しいビジネスモデルやイノベーション創出事例、社会課題解決に向けた取組の社会実装に向けて、地域住民をはじめとする多様な関係者などを直接つなぐ共創の場や機会を創出し、社会課題の解決を現場において具現化させて先進的な取組を社会へ展開することで、地域課題の解決、ひいては住民生活の質の向上や地域経済の活性化につなげるために、オープンイノベーションイベントの開催やフォローアップ、市内外への情報発信・PRを実施する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 【ソフト事業】 ・社会実装に向けた共創促進及びPR事業（委託料）5,000千円 社会課題解決に取り組む事業者と、地域の担い手や企業の支援者等を対象とした、共創によるイノベーションの創出や社会課題の解決、地域の活性化などを目的としたイベントの開催、またそこで生まれた共創事例の社会実装に向けたフォローアップ及び、機運醸成、認知度向上を目的としたPR等を実施する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①イノベーション創出につながる事業数（+6件） ②共創によるマッチング件数（+12件） ③共創イベント等における参加者数（+135人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/nakamozu-innovation/index.html

事業概要：人と動物が共に暮らす地域のにぎわい創出・経済活性化拠点整備事業

新規

申請者	大阪府堺市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	773,959千円 (174,699千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	「命の尊さを学び、体験できる機能」を強化した「(仮称)堺市動物愛護センター」と東雲公園とを一体的に整備を進め、周辺公共施設との連携強化及び多様な主体との協働により、動物愛護意識の向上と様々な世代の来訪と回遊を促進し、交流人口の拡大、地域の賑わいの創出及び経済活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「命の尊さを学び体験できる機能」を強化し、動物愛護の理念を市民に広く浸透させる拠点としての(仮称)動物愛護センターと、東雲公園を一体的に整備する。多様な主体の参画により、デジタルコンテンツを活用した啓発や獣医療体験などの動物愛護教育、公園全体を舞台とした動物愛護イベントを展開し、駅周辺の滞在・回遊を促し、交流人口の拡大、地域の賑わい創出及び経済活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事「(仮称)堺市動物愛護センター」整備174,699千円 現存の動物指導センターを撤去・解体し、動物愛護の啓発や交流拠点となる、動物愛護センターを新たに整備する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①東雲公園周辺の滞留人口（+12,000人） ②動物愛護センターの来館者数（+25,000人） ③デジタルコンテンツの利用者数（+5,000人） ④施設内における市民参加型イベントの参加者数（+1,800人） ⑤施設外におけるイベント参加者数（+2,000人）					URL ※交付金の具体的な 使途・実施体制・効果 検証の結果及び 改善方策への反映が 記載されているURL	令和9年1月公表予定

申請者	大阪府岸和田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	359,973千円 (152,648千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・データ基盤とAI分析の運用を定着させ、操業効率化と資源管理の高度化を図る。 ・デジタル市場・物流管理の拡大により、魚価向上、販路拡大、商品ロス削減を実現する。 ・海業拠点と情報発信を強化し、交流人口拡大と地域経済の活性化に繋げる ・教育とPDCA運用を継続し、DX人材育成と担い手確保を推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 2年目は、1年目に整備した体制を基に、IoT機器等による操業・海洋環境データの収集を本格化し、水産情報統合データベースの蓄積を進める。併せてAI分析システムの実装・精度検証を行い、漁場推測や漁獲量・魚価予測等の結果を現場へ提供し、操業判断の高度化と資源管理に繋げる。さらにデジタル市場（電子入札・EC・WEB等）と物流管理の運用を拡大し、販路拡大・魚価向上・商品ロス削減を推進する。教育カリキュラムと協議会によるPDCA運用を継続し、成果整理と横展開モデルの確立を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・漁海況予測AIプラットフォーム（委託料）13,310千円 「大阪湾『見える化』プロジェクト」における統合データベース構築に対応させる。 ・水産情報統合プラットフォーム（委託料）32,670千円 「デジタル市場運用プロジェクト」における統合プラットフォーム実装に対応させる。						
主なKPI	①岸和田地域の水産物取扱高（+8.4億円） ②デジタル市場・WEB販売にかかる手数料収入（+1,320万円） ③水産DX化に参加した水産関連事業者等の件数（+120事業者） ④岸和田市（近隣含む）DX人材育成人数（+202人） ⑤大阪湾広域連携プロジェクトにかかる手数料収入（+370万2千5百円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.kishiwada-dejisui.com/

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：移動がスムーズなまちづくり推進事業

継続

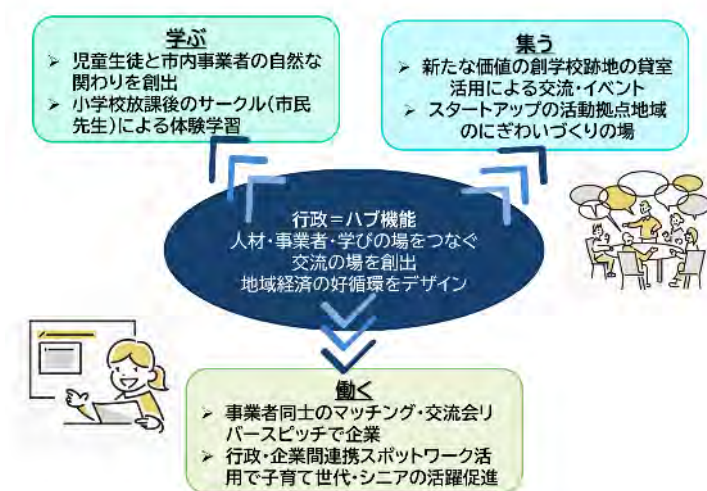
申請者	大阪府岸和田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	141,193千円 (54,618千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	技術的な課題等も踏まえた自動運転の実用化への取組を進めるとともに、公共交通の利便性や利用促進、交通事業の担い手不足などに対応するため、将来を見据えた新たな公共交通サービスとなる先進技術、次世代モビリティ等の活用により、自宅から交通の幹となる場所までのファーストワンマイルにおけるパーソナルモビリティ等の普及促進と、交通の幹となる場所から目的地までのラストワンマイルにおける移動サービスを幅広い関係者とともに創り上げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 山手地域の移動ニーズを踏まえ、今後さらに重要となる愛彩ランドをHUBとした和泉中央駅との間を含めた運行ルートにおいて自動運転の実証運行を実施する。なお、実施にあたり、地域との協議の場を設け、自動運転に対する不安解消や走行環境に関する理解向上を目指すとともに、自己位置推定技術等の導入等による安全性及び自動化率の向上を図る。 また、今後の実装に向けてステークホルダー（関係事業者）との協議調整を実施し、有償運行を見据えた料金シュミレーションを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・自動運転実証運行（負担金） 40,985千円 長期的な事業継続に向けてノウハウの構築を地域公共交通を担う関係事業者と協働で実施するほか、山手地域での新モビリティ導入を目指し、事業成立性等を精査する。 ・事業企画運営及び情報発信（負担金） 5,273千円 周辺へのチラシやSNS等による自動運転車サービスの運行に係る情報発信。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内路線バス利用率（+0.5%） ②自動運転に対する社会受容性（+17.1%） ③自動走行率（+26%） ④愛彩ランド来場者増加率（+9.6%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kishiwada.lg.jp/page/jidou-untan2.html

申請者	大阪府豊中市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	143,696千円 (52,952千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・国内外から多くの方が訪れる大阪万博を契機に、駅前広場や歩行空間等の整備とそれらを活かした賑わい創出により交流人口増加を図る。 ・国内外から人が多く集まる場所（府内主要観光地等）における市のPR、若者目線での魅力発信や専門人材を活用した効果的な魅力発信により、若者や子育て世帯の交流人口の増加や将来的な転入増加をめざす。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「豊中つばさ公園」一部オープンを契機に、市内外から人が集い滞在できる魅力的な空間づくりを進める。具体的には、公園や駅前広場へのベンチ・パークレット設置などにより交流スポットを増やすとともに、文化芸術を軸とした取組を地域連携型へ発展させ、市内外への魅力発信を強化する。また、若者・子育て世帯による魅力発掘や発信、効果的な広報を進める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域資源を活かした交流人口増加事業（委託料等）10,123千円 ・若者目線での魅力の発掘・発信事業（委託料）6,000千円 ・専門人材アドバイザー（委託料）6,000千円 【施設整備・事業設備・備品経費】 ・パークレットの設置にかかる経費 30,000千円 ・ベンチ制作経費 829千円						
主なKPI	①社会増加数（+4,900人） ②滞在人口率（+0.05%） ③市内の各駅乗降客数（+42,970人） ④ふるさと納税等の豊中市外からの寄付件数（+1,500件） ⑤住み続けたいと思っている市民の割合（対象：18～49歳）（+2.5%） ⑥SNSフォロー数（+5,000人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/keikaku/shingikai/fuzokukikan/soshikibetsu/seisakukikaku/kikakuc hosei/soukei/index.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

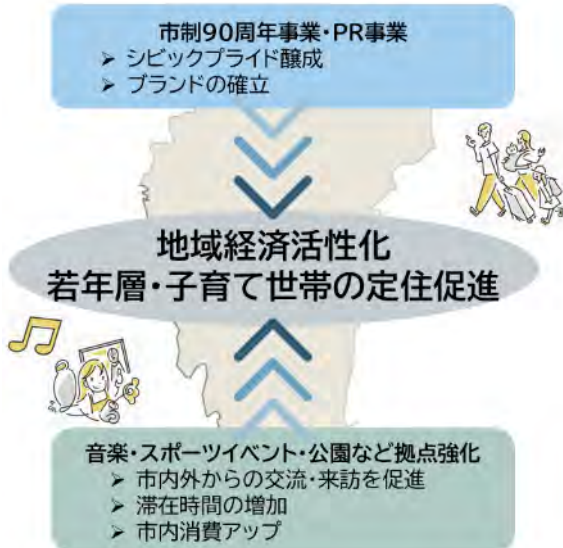
事業概要：人材・事業・次世代をつなぐ豊中市エコシステム推進プロジェクト

新規

申請者	大阪府豊中市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	247,335千円 (43,831千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・旧島田小学校を拠点に、スタートアップや市民の交流とにぎわいを生み出し、地域のつながりとエコシステムを育む。 ・事業者支援や人材マッチングを通じて企業の成長と多様な人材の活躍を後押しし、地域経済の活力向上につなげる。 ・子どもが学び、地域産業に触れながら将来の担い手として成長できる環境を整える。 ・行政が地域の人材・事業者・学びや交流機会を結びつけるハブとなり、地域経済が継続的に循環する仕組みの構築をめざす。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、旧市立島田小学校を活用し、スタートアップ支援や交流の拠点として教室の貸室機能を整備する。また、市立小学校の放課後を活用し、市民先生による体験活動など、子どもが地域産業に触れられる機会を提供する。併せて、事業者へのニーズ調査を踏まえたマッチングや交流会、リバースピッチを実施し、企業間連携を促す。さらに、スポットワークの本格運用により、子育て世代やシニアが柔軟に働ける仕組みを広げ、地域の事業者と人材をつなぐ取組みを進める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域産業と市民・次世代をつなぐ場づくり事業（委託料等） 16,701千円 ○拠点整備事業 ・旧島田小学校（北館）産業振興施設整備 19,876千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増加数（+3,710人） ②スポットワークにおける市内企業と市民の新規マッチング数（+150件） ③事業者間ネットワーク推進事業およびリバースピッチによる公産金学（事業者同士や市と事業者等）のべ参加者数（+250社） ④地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合（+2.5%） ⑤地域産業が活性化しているまちと思っている市民の割合（+1.50%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/keikaku/shingikai/fuzokukikan/soshikibetsu/seisakukikaku/kikakuc hosei/soukei/index.html

事業概要：地域経済活性化のための未来創造プロジェクト

新規

申請者	大阪府豊中市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	109,156千円 (55,209千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・子育て環境・教育の質・利便性など、本市が持つ居住魅力を高め、若者・子育て世帯に選ばれ続けるまちを維持・発展させる。 ・昼間人口の低さという課題に対応し、市内で滞在・活動・消費が生まれる仕組みを整え、交流人口と地域経済の循環を拡大する。 ・文化・芸術・スポーツなど豊かな地域資源を活かし、市制100周年に向けて市民の愛着と誇りを育む。これらにより市内外から訪れる人を増やし、地域経済への波及効果を高めながら、持続可能な都市としての価値向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・音楽・芸術・スポーツを活かしたイベントを展開し、市内外からの来訪と交流を促進する。 ・公園などの市内拠点の機能強化により、来訪者の滞在と市内消費を促し、地域経済の活性化につなげる。 ・市制100周年に向けた記念事業や情報発信を通じて、市の魅力とブランドイメージを高める。合わせて市のブランディング、PRにより、若年層や子育て世帯に本市の魅力を実感してもらい、定住促進につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・市PR事業（委託料等）4,606千円 ・ニーズ調査（アンケート）（委託料）7,878千円 ・専門人材の活用（委託料）4,500千円 ・スポーツ関連事業経費（委託料等）1,365千円 ・千里中央公園、ボールパーク整備事業（工事請負費） 36,860千円						
主なKPI	①社会増加数（+3,710人） ②滞在人口率（+0.05%） ③市内各駅乗降客数（+21,105人） ④ふるさと納税等の豊中市外からの寄附の件数（+1500件） ⑤住みたいと思っている市民の割合（+1.5%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/keikaku/shingikai/fuzokukikan/soshikibetsu/seisakukikaku/kikakuc/hosei/soukei/index.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：多様な主体が参画し「人」と「動物」がふれあう動物公園の整備事業

継続

申請者	大阪府池田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	783,000千円 (342,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	主要な観光施設の一つである「五月山動物園」の整備を軸とした地方創生の取組を推進し、若い世代に向けて「魅力ある池田市」に触れる機会を創出するとともに、観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 五月山動物園の「エントランスゾーン」の整備を行うことにより、同園から市中心部までの同線を一体的に捉えたウォークアブルなまちづくり、また、隣接する広場やバーベキュー施設等と連携し、価値向上をめざす。 特に、最寄り駅と同園は徒歩15分圏内という「歩いて行ける動物園」であり、メインルートとして70店舗が立ち並ぶ地元商店街を通過する位置関係となっている。商店街を抜けた先に、従来の囲われた動物園ではなく、隣接する緑地や広場にひらかれた“動物公園”があることで人を呼び込む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・五月山動物園「エントランスゾーン」の再整備 エントランス、管理棟整備工事 210,000千円 ・放飼場、園路整備工事 100,000千円 (効果促進事業) ・プロモーション、動物展示コンテンツ計画 22,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額 (+411,525千円) ②HPアクセス数 (+162,992回) ③ファン・サポーター数 (+200人) ④寄付金の合計額 (+8,455万円)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ikeda.osaka.jp/soshiki/toshiseibibu/midorinos ei/kouen/21059.html

申請者	大阪府池田市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,681,200千円 (1,443,600千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・子育て支援、健康寿命延伸、デジタルデバйд対策など社会・時代のニーズに沿った多様な取組を実証・創出し、誰もが住みやすい地域づくりによって人口の維持・増加を図る。 ・多世代交流や地域資源を活かした取組を推進することによって、地域のプラットフォーム施設として世代を超えての交流や新たなつながり・コミュニティを育むことで、地域の活性化を図り、まちのにぎわいを創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 老人福祉センター（敬老会館）及び周辺の共同利用施設（花園会館、旭丘会館）を集約複合化し、「地域のリビング」として子どもから高齢者まで世代を超えた様々な人たちが気軽に立ち寄り、ふれあい、学び合える多世代交流拠点施設を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・（仮称）池田市立多世代交流施設整備工事 1,425,600千円 養護老人ホーム及び老人福祉を解体し、「敬老会館」と周辺に位置する共同利用施設の「花園会館・旭丘会館」を集約・複合化するもの。 ・（仮称）池田市立多世代交流施設備品整備事業 18,000千円 施設に特色ある設備を設置することで集客を行い、子育てサロン等の事業にも活用しながら、親子の交流を促すため設備を整備するもの。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①池田市の人口（維持目標）（人口10万人の維持） ②施設の利用人数（+23,396人） ③施設で開催される講座・自主事業等への参加者数（+555人） ④施設で市が他の主体と協働・連携して実施する事業数（産学連携による取組の事業数）（+8件） ⑤施設で活動する自主グループの登録数（+26団体）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年6月公表予定

事業概要：高槻城公園北エリア大手地区整備事業

継続

申請者	大阪府高槻市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	72,500千円 (71,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・まちやカフェを高槻城公園と一体的に整備することで、エリアの魅力を最大限に発揮させ、若い世代の定着・流入を促進する。 ・民間事業者による効率的・効果的な運営と、民間のノウハウを生かした施設の魅力向上を図ることで、街のにぎわい向上に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 まちやカフェは、高槻城公園と一体的に整備し、民間事業者のノウハウを生かした運営を行うことで、エリアの魅力を最大限に向上させるものとなる。魅力のあるまちをつくることで、若い世代の定着・流入を促進し、人口減少少子高齢化という課題の解決に寄与するとともに、市民のみならず市内外からの来訪者の増加が期待でき、街のにぎわいの向上と地域経済の活性化にも寄与する。					拠点となる施設 まちやカフェ(公園施設) ※公募で民間事業者を選定 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事 施設整備 71,000千円 まちやカフェはかつての高槻城下町のランドマークとなる火見櫓に合わせ新たに整備するもので、高槻城の歴史的な景観にあうような木造建築物とし、その内部は民間事業者がカフェとして運営する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額の増減 (+500万円) ②公園来場者数 (+1万人) ③多様な主体との協議会回数 (+4回)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takatsuki.osaka.jp/soshiki/4/159574.html

事業概要：（仮称）地域共生ステーション整備事業

継続

申請者	大阪府高槻市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,011,500千円 (152,573千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	「（仮称）地域共生ステーション」を整備することで、コミュニティ、産業、まちづくり、子育てや教育など様々な分野を含めて、世代や障がいの有無等を超えて、地域経済・社会の中でつながり合い、誰もが役割を持ち、活躍できる賑わいと活力のある地域共生社会へ移行を進めていくことを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 あらゆる世代の人々が、互いにつながり合って共に楽しく過ごせるために必要な諸室を備え、隣接して整備する広場とともに、誰もが自由に過ごし、魅力的な事業展開を通じて、賑わいと交流を生み出す拠点を作る。また、地域や多様な主体を巻き込んだ周知・交流イベントの企画及び運営を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・（仮称）地域共生ステーション整備に係る気運醸成事業（委託料）5,500千円 ○拠点整備事業 ・地域共生センター 建築物設計費 147,073千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①（仮称）地域共生ステーション周辺地区の人口減少率の維持（±0%） ②来場者数（+15万人） ③市民等企画インクルーシブイベント実施回数（+22回／年） ④（仮称）地域共生ステーションミーティング参画登録者数（+28団体・個人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takatsuki.osaka.jp/soshiki/4/159574.html

※令和7年12月19日以降、「（仮称）地域共生ステーション」から「たかつき未来パーク」に施設名称を変更。

事業概要：「将棋のまち 高槻」定着化事業

継続

申請者	大阪府高槻市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,003,384千円 (885,584千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・JR高槻駅から関西将棋会館までの動線について、将棋の魅力と風格を感じる都市空間づくりの創出に取組むとともに、積極的なプロモーションを展開することで、「将棋のまち高槻」の都市ブランドの定着とにぎわいの創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 JR高槻駅から関西将棋会館までの動線について、一目見て「将棋のまち高槻」を実感できるようなしつらえの壁面ルーバーやロータリーのシェルター等のインフラ整備とともに、JR高槻駅周辺の装飾と交通広告を用いた新たなプロモーション事業を展開する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 インフラ整備事業の効果促進を図るプロモーション ・PRイベント（委託料）11,217千円 ・装飾（委託料）9,060千円 ・バスラッピング（広告料）12,207千円 ○インフラ整備事業経費 「将棋のまち高槻」を実感できるような壁面ルーバー等の整備 ・工事請負費 853,100千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本市中心市街地への来訪者数（+73,000人） ②「将棋のまち高槻」の認知度（+1.5%） ③高槻の玄関口にふさわしい魅力ある都市空間であると思う割合（+3%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takatsuki.osaka.jp/soshiki/4/159574.html

事業概要：あらゆる世代が楽しめるスポーツ拠点整備事業

継続

申請者	大阪府高槻市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	746,964千円 (57,081千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・市民のスポーツ推進及び本市の更なる魅力向上に向け、新たなスポーツ拠点を整備する。1期では市有地を活用し、2期ではN E X C O西日本による高速道路の整備の進捗に合わせ、市有地と隣接する高架下空間を活用することで、あらゆる世代が集い、交流できる魅力的な公共空間を整備する。 ・今回の交付対象事業となる1期事業では、多目的グラウンド、管理棟、駐車場、駐輪場等を整備し、将来にわたって変化する市民のスポーツのニーズに合わせた運用を行う。当面は、人数の増加が見込まれる高齢者のニーズが高いグラウンド・ゴルフ場として利用し、高齢者の生きがいづくりや多世代での交流を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市民のスポーツ推進及び本市の更なる魅力向上に向け、新たなスポーツ拠点として、あらゆる世代が集い、交流できる魅力的な公共空間を整備する。今回の交付対象事業となる1期事業では、多目的グラウンド、管理棟、駐車場、駐輪場等を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・スポーツ拠点整備をPRするラッピングバスの作成（広報費） 946千円 ・施設及び競技の普及啓発を図るグラウンド・ゴルフ体験会の実施（委託料） 1,000千円 ○拠点整備事業 ・（仮称）あらゆる世代が活用できる多目的グラウンド整備工事費 55,135千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口減少率の抑制（+0.15人） ②健康寿命の延伸（+0.70歳） ③グラウンド・ゴルフ場利用者数（6,000人） ④成人の週1回以上のスポーツ実施率（+14%） ⑤介護予防活動参加者数（+2,468人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takatsuki.osaka.jp/soshiki/4/159574.html

事業概要：高槻市・島本町リンクローカルプロジェクト

新規

申請者	大阪府高槻市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	228,090千円 (84,342千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・高槻市・島本町・観光協会が連携し、両市町の地域資源である「将棋」「歴史資産」「産業」「グルメ」を掛け合わせるとともに、地域のステークホルダーを巻き込みながら、広域的な観光プロモーションに取り組む。 ・本事業の実施によって、地域独自のブランドが定着するとともに、両市町への観光来訪者等の交流人口や関係人口の増加を図り、地方創生としての将来像を実現、地場産業の付加価値向上や販路開拓のほか、地域経済の維持及び拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域資源の認知不足、文化財の保存活用、市外来訪者の伸び悩み、中心市街地から外部への消費の空洞化等が懸念されていることから、高槻市・島本町・観光協会が連携し、両市町の地域資源である「将棋」「歴史資産」「産業」「グルメ」を掛け合わせるとともに、地域ブランドとして磨き上げ、地域のステークホルダーを巻き込みながら、広域的な観光プロモーションに取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域の魅力創出・ブラッシュアップ事業（委託料・補助金）16,742千円 ・広域観光プログラム開発事業（補助金）26,500千円 ・観光案内事業（補助金）14,500千円 ・広域プロモーション事業（委託料）26,600千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（＋3億円） ②地域資源の認知度（＋6.0pt） ③体験プログラムの実施事業者数（＋80事業者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takatsuki.osaka.jp/soshiki/4/159574.html

事業概要：高槻市北部地域宿泊施設整備事業

新規

申請者	大阪府高槻市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	552,000千円 (25,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・宿泊施設をトリガーに、特産品の購入や飲食、体験型サービスへの接触機会が拡大することで地場産業の新ビジネスの創出を図る。 ・滞在型観光の導入により市域内の消費が拡大し、地元産品や関連産業の付加価値向上になるよう好循環をめざす。 ・年間を通じた広域的な誘客と収益性やサービス水準を高めることで、交流人口及び関係人口の増加と地域経済の維持・拡大につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 事業は、既存のキャンプ場を再生し、大阪や京都の大都市から近接する立地環境や豊かな自然環境をいかした観光拠点となる高規格な宿泊施設へとリニューアルする事業である。一年中利用できる宿泊ロッジや管理棟、サニタリー棟等を整備することで、幅広い利用者が快適に滞在し市内へ観光できる環境を創出する。さらに、利用者が楽しめるソフト事業の展開と予約や管理のデジタル化により、効率的かつ効果的な管理運営体制の確立と新たな需要喚起にもつなげていく。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・宿泊施設・観光拠点の整備に向けた実施設計 25,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①付加価値増加額（+1.19億円） ②地域の人口・世帯数（交流人口・関係人口含む）（+6,121人） ③宿泊施設利用者数（+9,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.takatsuki.osaka.jp/soshiki/4/159574.html

事業概要：水間門前町コ・デザイン区プロジェクト事業

継続

申請者	大阪府貝塚市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	93,000千円 (31,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・水間門前町における地方創生人材確保・育成及び地域再生推進法人の組織強化を行い、持続可能な事業推進主体の確立する。 ・地域資源を活用した商品開発やイベント開催等により、水間門前町への来訪を促進し、滞在時間や観光消費を増加を目指す。 ・古民家等への店舗誘致などにより、若者が働く場を提供するとともに、暮らしながら働くことを希望する方の移住の促進を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・空き家・空き店舗を活用し、店舗の運営や商品開発・販売等を行いながら、水間門前町のブランディングに寄与する活動を行う地方創生人材の確保・育成を行うとともに、（一社）水間門前町コ・デザイン区の事業推進体制の強化を図り、地方創生事業を継続することができる組織とする。 ・複数の空き家や水間公園等活用し、アート作品や音楽を体験できる周遊アートイベントの構築及び継続開催するとともに、地域資源を活用した商品の造成や、関西国際空港利用者や若者等にSNS等を活用した水間門前町のプロモーションを行う。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地方創生人材の確保・育成及び地域再生推進法人組織強化事業（委託料） 26,000千円 ・水間門前町ブランディング事業（委託料） 5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業による移住者数（+8人） ②地域再生推進法人の会員数（+15人） ③地域再生推進法人及び関連店舗の売上額（+3,500万円） ④アートイベントの来場者数（+3,250人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.kaizuka-codesign.com/ （効果検証） https://www.city.kaizuka.lg.jp/kaku-ka/sogoseisaku/seisaku/menu/kaizuka-kasimatihitosigotosouseisougousennryaku/s_senryaku.html

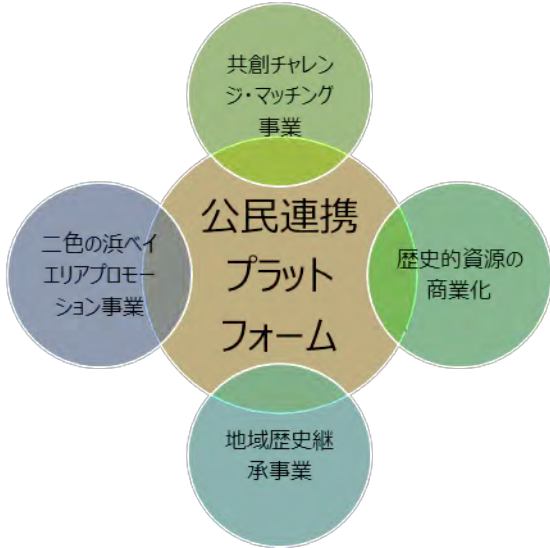
事業概要：かいづかブランド推進DMO設立運営事業

新規

申請者	大阪府貝塚市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	246,900千円 (82,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	市域一体となって観光地域づくりのマネジメント及びマーケティングを行う観光地域づくり法人（地域DMO）の設立し、“かいづか”の地域ブランドを戦略的に構築し、訪れたい場所としての知名度向上及び地域資源を活用した観光まちづくりに取り組み、貝塚市における観光関連産業の振興と交流人口の拡大による地域経済の活性化を促進を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・観光地域づくり法人を立上げ、地域再生推進法人指定及び地域DMO登録を行うとともに、「キラーコンテンツ」を設定するための調査、設定し、“かいづか”ブランドを構築して全国へのプロモーションを行う。 ・観光ツアーや特産品（お土産等）の造成など観光関連事業をモデル的に実施するとともに、「おおさか貝塚の宝物」プロジェクトを実施する。 ・観光案内所の機能強化を図るとともに、特産品の試食や特産品を使った飲食メニューを提供する。 ・新たなブランディングされたSNSやHPを制作運営、関西国際空港や周辺ホテルや旅行会社への営業活動、イベント、かいづか応援倶楽部などを通じての地域資源や特産品のPRする。					 貝塚駅改札前、お土産が揃う観光案内所	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・観光地域づくり法人の立上げ運営負担金 35,000千円 ・地域ブランディング事業負担金 10,000千円 ・地域資源を活用した商品・ツアーの造成事業負担金 37,300千円					 鉄道ファンに大人気、観光資源を結ぶ水間鉄道	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光関連商品の売上額（+1,488万円） ②日本国内居住者の年間観光目的入込数（+12万人） ③貝塚駅及び二色浜駅の一日平均乗降人員（+11,500人）					 ブルーフラッグビーチ、夕日百選二色の浜	 厄除で有名、恋人の聖地愛染堂もある水間寺
						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：公民連携プラットフォーム構築事業

新規

申請者	大阪府貝塚市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	52,680千円 (30,530千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・多様な主体で構成する「公民連携プラットフォーム」を立ち上げ、地方創生と公民連携事業を推進することにより、課題であった「まちの顔」づくりと、市への愛着増進を図り、地域経済の発展と若年層（15～34歳）の転出超過の抑制をめざす。 ・地方創生を強力に推進するため、民間ならではの柔軟性と行政の公共性をもって即応する体制を整備するとともに、シビックプライドを醸成し、若年層の定住意欲を高め、持続可能な「強い経済」と「安心な暮らし」が両立するまちをめざす。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 公民連携プラットフォームを立ち上げ、地域資源の経済的価値を高め地域経済の発展につなげるとともに、若年層の市への愛着を深め、転出超過の抑制と市内企業の発展をめざす。また、文化財の活用については、寺内町の旧家について個別に商業化の可能性を調査後、地域団体による旧家の借上げや商業化を支援するとともに、観光マップを作成する。さらに、二色の浜ベイエリアプロモーション事業については、二色の浜の知名度向上と民間事業者による活用を目的としたイベントを開催する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・歴史的資源（寺内町等）の商業化（委託料）8,000千円 ・二色の浜ベイエリアプロモーション事業（負担金）9,530千円 ・地域の歴史継承事業（設計及び整備）7,600千円 ・共創チャレンジ・マッチング事業（公民連携事業のネットワーク効果）（負担金・事務局費）5,400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①若年層（15～34歳）の転出超過率の減少（+ 3ポイント） ②プラットフォーム参画事業者・団体数（+ 10団体） ③ 2者以上による連携事業数（+ 3事業）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.city.kaizuka.lg.jp/kaku-ka/sogoseisaku/seisaku/menu/kaizukasimatihitosigotosouseisougousennryaku/s_senryaku.html

事業概要：カーボンニュートラル推進事業

新規

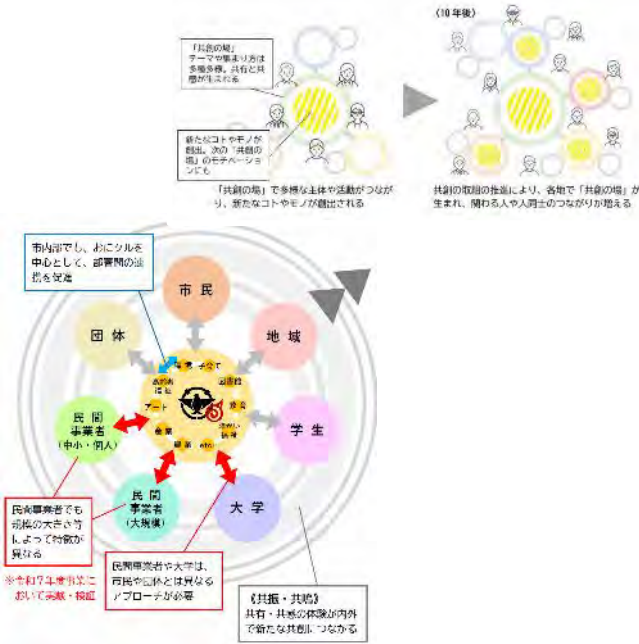
申請者	大阪府守口市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	48,890千円 (11,730千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	事業活動と脱炭素の両立を図る体制をつくり市域を支える事業者のエネルギーコスト負担を軽減し付加価値の向上につなげることで市域の事業者全体の脱炭素化を後押しするとともに、学びと実践を通じて環境意識を高めた地域の担い手が市内事業者の脱炭素化に触れる機会を増やすような事業を実施することで、地域産業の担い手の確保や雇用の維持・創出につなげ持続可能な都市を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中小事業者10者を対象にエネルギー削減診断を実施し、その診断結果を踏まえた脱炭素経営計画等の作成支援や、脱炭素化への効果が期待できる事業者に対し機器の導入費用の補助等の個別支援を行い、これらの事業者の取組の実施結果を測定することで、事業者の脱炭素化を推進する。また、実施結果についてセミナーを開催し、脱炭素化のメリットや、機器の導入、脱炭素経営に係る取組による効果等を周知することで、他の事業者に対しても脱炭素に関する取組の促進を図る。これにより、脱炭素を通じて、行政と事業者が一体となって市の魅力向上に取り組む体制を構築する。さらに、子ども及びその保護者を対象に、事業者と連携した脱炭素に関する施設見学を実施するとともに、教育機関等と連携しながら施設見学に参加していない市民に対しても周知する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・中小事業者向け脱炭素経営支援（委託料）11,600千円 中小事業者向けに省エネや脱炭素経営等に関するセミナー、エネルギー削減診断を実施する。エネルギー削減診断は、今後のフォローアップを念頭に置き実施する。 ・市民向け脱炭素啓発業務（借上料）130千円 小学生とその保護者を対象に、脱炭素に関する施設見学を実施する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内事業者が省エネ・再エネ導入等によるコスト削減を通じて創出する付加価値額（+1,750千円） ②市内事業者の省エネ・再エネ導入等によるエネルギー温室効果ガス削減量（270 t - CO2） ③脱炭素経営に着手した市内事業者数（+69者） ④セミナー参加事業者数（+90者） ⑤環境学習会の応募者数（+150人）					URL ※交付金の具体的 使途・実施体制・ 効果検証の結果及 び改善方策への反 映が記載されている URL	令和8年7月公表予定

事業概要：地元企業の魅力発信事業

継続

申請者	大阪府茨木市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	33,415千円 (11,359千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・企業が自社の魅力を市民や学生に伝える取組（イベント）を実施し、市内企業に対する認知度向上を図る。 ・市民・若者の市内企業への就職意欲、認知度の向上および市内企業の成長促進と市内産業の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①オープンカンパニーの実施・推進 ・企業が、自社の工場や事業所を市民等に公開するイベントの実施 ・独自に魅力発信の取組を行う企業へ支援する。 ②若者のための職業体験イベントの開催 ・中学生以上の若者を対象に、市内企業の事業内容に触れる参加体験型のイベントを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○オープンカンパニーの実施（委託料等）8,609千円 企業が工場や事業所を市民等に公開し、企業の魅力を発信するイベントについて、参加企業・参加者の増加及び企業の主体的取組の促進、加えて参加企業の事業・商品の認知度向上を図る。 ○ 職業体験イベントの開催（委託料）2,750千円 中学生以上の若者を対象に、会場において参加体験型で企業の事業内容に触れるイベントを実施する。						
主なKPI	①学生がイベントに関わりを持った企業に就職した件数（+1件） ②オープンカンパニーイベント参加者数（+65人） ③オープンカンパニーを実施する企業数（+11社） ④職業体験イベント参加者数（+90人） ⑤「市内企業に魅力を感じた」参加者の割合（+60%） ⑥「市内企業で働いてみたい」と思う参加者の割合（+20%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和8年9月公表予定 （効果検証） 令和8年9月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	大阪府茨木市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	49,180千円 (20,797千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	各主体が分野ごとの活動に留まっている現状について、共創のまちづくりを推進することで、各主体が交わることで新たな出会いや新たな価値の創造や活動人口が増加することでまちの賑わいや活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①茨木キョウソーシアムの形成 大学の枠を超えて、学生個人やグループ単位で気軽に参加できる学生の活躍の場を創出することで、新たな出会いや自己実現の達成を図る。 ②文化芸術活動の推進 「文化の会議」を通じて市民が文化芸術イベントを企画・調整し、イベント当日において来場者との交流を通して、コーディネーターとしての経験と人脈を形成・成長させ、地域における文化的コモンズの形成を促進する。 ③育てる広場推進事業 おにクルを中心に市民等も参加しながら、施設の活用方法や共創企画を検討・実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・茨木キョウソーシアムの形成（指定管理料） 879千円 ・育てる広場実現に向けた事業（指定管理料） 13,298千円 ・文化の会議の企画実施（委託料） 6,620千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（社会増）（+1,458人） ②茨木キョウソーシアムへの参加者数（+45人） ③連携した団体数（11箇所）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） R8.9月公表予定 （効果検証） R8.9月公表予定

事業概要：安威川ダム周辺観光振興事業

継続

申請者	大阪府茨木市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	528,489千円 (183,583千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	安威川ダム周辺を観光拠点化し、人口減少・少子高齢化等の課題を抱える茨木市北部地域の魅力を高め、交流人口を増やすことにより、観光振興、経済活性化、歴史・文化の継続を図り、地域の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ダムパークいばきたを中心に、官民連携による効果を北部地域に波及させ、地域全体の活性化を図るため、エリアマネジメントや社会実験等の取組を実施するほか、市内外からの来訪者の増加と消費促進を図るため、交通渋滞へ対応しつつ、ダムパークいばきたへの来訪者をいばきたや市内観光スポットへの周遊を促すPRや周遊看板設置等の取組を実施する。 また、北部地域が隠れキリシタンの里であった歴史を活かし、「キリシタン遺物史料館」において、展示をリニューアルすることで魅力向上を図るとともに、「ダムパークいばきた」との相互連携により来場者増加をめざす。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ダム周辺上流広場の魅力向上等の取組事業（委託料） 4,985千円 ・観光振興に向けた取組の推進（委託料） 14,333千円 ○インフラ整備事業 ・多目的運動広場整備事業 119,019千円 ・安威川ダム周辺整備事業 13,725千円						
主なKPI	①茨木市北部地域における観光消費額（+1,016,499千円） ②ダムパークいばきたの年間利用者数（+94万人） ③ダムパークいばきたでのイベント数（+634件） ④キリシタン遺物史料館利用者数（+350人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和8年9月公表予定 （効果検証） 令和8年9月公表予定

事業概要：万博体験を活かした八尾のプロモーション展開事業

継続

申請者	大阪府八尾市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	21,344千円 (5,202千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・2025年大阪・関西万博において、八尾の魅力ある地域資源を世界に発信し、八尾の成長と発展、関係人口の増加につなげるために万博への参画・参加を進めている。万博の閉幕後においては、万博で得た体験や実績をもとに、本市のプロモーションを国内外に展開し、定住魅力の向上と移住・来訪意欲の向上、新たな観光魅力の創出・活用・発信によるインバウンド等観光客の増加、地域経済の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大阪・関西万博の開催期間内及び閉幕後において、会場内外において、拡張万博として八尾を広くプロモーションする。また、令和7年度策定のプロモーションの考え方を踏まえて、万博への参画・参加の効果を市内外へ発信していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ①万博を契機とした八尾市への誘客・プロモーション 3,450千円 ・万博に出展したコンテンツをミニやお万博イベントとして市内外で開催する。 ②共創チャレンジ団体の広域な活動展開 1,000千円 ・八尾市の共創チャレンジ団体の取組みや魅力を市内外の人々に伝えるイベントを開催し、共創のつながりを創出する。 ③ #やお万博・ #やお自慢があなたの街へおじゃまします隊 500千円 ・万博に取り組んだ自治体とともに府外に出向いて万博で発信した魅力を広める。 ④プロモーション推進アドバイザーによるプロモ展開 252千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本市での観光消費額 (+29億5608万円) ②八尾市のInstagramフォロワー数 (+1,500人) ③八尾の魅力を友人や知り合いに推奨する気持ち強い市民の割合 (+7%) ④八尾市に観光へ行ってみたいと思う人の割合 (+40%) ⑤市外から本市への観光来訪者数 (+184,755人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yao.osaka.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/019/462/shiryou10.pdf

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：国登録有形文化財旧木村家住宅を活用したにぎわい拠点整備事業

継続

申請者	大阪府八尾市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	346,116千円 (0千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・国登録有形文化財木村家住宅の文化財的価値に加えて、近鉄八尾駅に近い利便性を活かして、新たなにぎわいを創出し、地域の活性化を図る魅力ある観光・交流拠点とする。 ・八尾の伝統産業である河内木綿の当時の様子を体感し、大和川付け替え以降の八尾の歴史に触れ、市民の地元愛醸成を進める。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 木村家住宅は、近鉄八尾駅に近く市の中心部に位置し、利便性に優れており、まちのにぎわい拠点となるよう施設整備を行う。また、国登録有形文化財であることから、文化財としての価値を毀損することなく、また、文化財保護法の目的に従い、単に維持保全をするだけでなく、活用し、市民・来訪者の文化的向上に資する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○国登録有形文化財木村家住宅の整備基本計画の策定 0千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本市での観光消費額（+74億408万円） ②市外から本市への観光来訪者数（+462,755人） ③「地域の魅力の情報発信、案内拠点」への来館者数（+28,800人） ④「公共施設の利用状況について」における「歴史資料館等」を利用した回答率（+19%） ⑤既存文化財施設において、木村家住宅で情報を得て訪問した来館者の割合（+55%）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yao.osaka.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/019/462/shiryou10.pdf

事業概要：「恋人の聖地」広域市町村連携による関係人口拡大に向けたバーチャルコンパクトシティ事業

旧制度（推進）

申請者	大阪府泉佐野市ほか13自治体	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,631,962千円 (665,394千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	市町村の広域連携により、大都市圏の人々との「接点の拡大」、リアル・非リアルを通して「地方志向者との関係の深化」を図り、事業のDX化による「中間支援組織」の業務負担軽減などにより、持続的かつ自走可能な関係人口拡大事業の実施につなげる。また観光振興等による「交流人口の拡大」を通して関係人口の増加を図り、地域内の各産業の「担い手となる人々の拡大」、若者やファミリー層の「移住・定住」につなげ、地方への人の流れを生み出すことができる将来像を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市町村内の事業を横断的に集約し、仮想シティ（WEBワンストップ窓口）を構築し、リアル・非リアルを通し多様なニーズに対応するマッチングシステム構築、リモートサポートセンターの運用、観光振興等による交流人口の拡大を通して関係人口の増加を図る。官民による組織を形成し、地域内の各産業の担い手となる人々の活動拡大、それらを移住・定住につなげ、地方への人の流れを生み出す事業として推進する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・バーチャルコンパクトシティ共同基盤事業/市町村連携バーチャルコンパクトシティ共同基盤事業費（企画運営費等） 70,000千円 ・観光交流促進強化連携事業/市町村の観光交流促進強化連携事業費（PR委託費等） 341,953千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①観光入込数（+1,375万人） ②仮想市民登録数（+16,100件） ③地方志向者の魅力度数（+15%）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.seichi.net/association/kensho/

※大阪府泉佐野市、北海道七飯町、栃木県野木町、栃木県那須町、群馬県上野村、群馬県川場村、長野県須坂市、岐阜県山県市、大阪府貝塚市、大阪府泉南市、広島県神石高原町、高知県室戸市、高知県黒潮町、大分県豊後高田市の広域連携事業

事業概要：eスポーツMICEコンテンツ実証事業

継続

申請者	大阪府泉佐野市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	756,700千円 (140,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	交流人口及び関係人口創出・深化の糸口となる都市魅力創造に繋がる新たなコンテンツとして、eスポーツの取組みを実証として実施する。また、これを通じた人材育成等の取組みによって新しい考えや価値観で柔軟に対応できる持続可能な地域へと繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 国内においては、eスポーツ関係人材の育成を目的とした実践教育（大会・イベント等）の継続的实施をする。また、eスポーツ事業の実施に関係して泉佐野市に来訪される人々に、地域DMOと連携し、当該DMOが造成を試みている市内ツアーへの参加を促進する。加えて、市域において、eスポーツ施設が皆無であるためタッチポイントとして、りんくうタウンにeスポーツ施設を整備・常設する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・eスポーツの認知・理解促進のための施設運営（委託料）60,000千円 ・大会・イベント等の継続実施に向けた準備（委託料）80,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①関係人口（+2,230人）※1 ②交流人口（+1,222,000人）※2 ③eスポーツ・イベントの開催数（+145回） ※1 オンライン参加者を含む ※2オンライン視聴者を含む					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	 (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/seicyou/omotenasi/menu/esports/10074.html (効果検証) https://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/seisaku/menu/tihousousei/index.html

事業概要：観光アプリ等を活用した着地型商品普及のための地域活性化計画

旧制度（推進）

申請者	大阪府泉佐野市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	106,896千円 (32,653千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	「タビマエ・タビナカ」の国内外観光客に向けて、市内へ訪問してもらえるように多方面からアプローチを実施する。滞在時間の長期化と二次交通の充実化も同時に実現できるような、すき間時間を活用した新たなツーリズムを開発・創出することとし、ショートトリップが定着した暁には、滞在時間の長期化にフォーカスしたロングステイトリップの策定を目指すものである。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 滞在時間の長期化と二次交通の充実化も実現できるよう、隙間時間を活用した新たなツーリズムを開発・創出する。具体的には、大阪観光局が運用しているアプリを活用・連携することで、大阪府下の観光情報が集約された広いプラットフォームで本市の観光情報を発信し、本市への訪問の契機作りを行う。また、体験型・交流型旅行のニーズの高まりを踏まえ、地域資源を活用した市内の着地型観光商品であるニューツーリズム旅行商品を販売する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・観光アプリでの商品の販売・アプリの運営(委託料) 4,153千円 ・観光情報サイトの制作・運営(委託料) 22,500千円 ・着地型観光商品の作成・販売(委託料) 6,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における観光消費額（+55億2,000万円） ②泉佐野市内の観光来訪者数（+89,600人） ③アプリ上での商品の販売売上額(+175,781円) ④レンタサイクルの利用実績額（+115,607円）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/seisaku/menu/tihouseusei/index.html

申請者	大阪府泉佐野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	116,000千円 (37,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・泉佐野市にインキュベーション拠点を整備し、注力テーマを設定したうえで、テーマに即したスタートアップを誘致する。 ・地元企業との実証事業を通じて、誘致したスタートアップの泉佐野市への定着を図る。中長期的には、注力テーマについてスタートアップによる産業クラスターを構築することで、地域における雇用と付加価値の創出を図る。 ・注力テーマは、地元の主要企業を巻き込みつつ、泉佐野市の強みを踏まえて設定し、テーマに沿ったイノベーションを促進させ、地域の社会課題解決に貢献するとともに、横展開により域外の社会課題解決にも貢献することを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の立地施設・地域産業・資源・関連施策との親和性を踏まえた技術を持つスタートアップ等を産業クラスターの対象テーマとする。そのうえで、これらスタートアップ等が初期的な事業開発を進めるうえで必要となる設備・施設利用場所や人的ネットワークなどの地域資源を提供し、専門家による経営支援を行う。これら社会実装を経たスタートアップ等が市内に集積することで、地域事業者とのオープンイノベーションの促進や地域課題の解決、泉佐野市にとって新産業の孵化や質の高い雇用の創出を実現する。					中長期計画	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○地元企業との協業によるスタートアップ誘致・定着事業 ・事業PR、スタートアップ探索、地元企業とのマッチング、協業の伴走支援に関する費用 37,000千円					地域事業者起 点のPJT実施 有望スタートアップが積極的に実証活動・地域への滞在を選んでくれる居場所を創出	スタートアップ誘致・定着 集積を目指すテーマを地域課題/展望起点で設定し、有望スタートアップとの実証を創出
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業によるスタートアップ定着数 (+6社) ②地元事業者とスタートアップとのオープンイノベーションプロジェクト組成数 (+12件) ③本事業による新規雇用者数 (+5人) ※ 5～10年後には数十人規模に増えることを想定。 ④地域関連事業者による拠点におけるイベント運営数 (+15件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	○https://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/seikatsu/shoko/menu/izumisano_co_creation_program_sanoforontier/index.html ○https://izumisano.local-innovation.jp/ ○https://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/seisaku/menu/tihousousei/index.html

申請者	大阪府富田林市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	32,505千円 (11,429千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・企業数を増加させ、まちのにぎわいや雇用を創出し、魅力的なまちづくりを行うことを目的に、産業関係者が持つ専門知識を活かした連携を行い、企業の積極的な立地を推進するとともに、創業者支援や市内企業の価値向上に資する取り組みを積極的に行うための調査を実施する。 ・産業を総合的に支援できる拠点を整備し、創業や経営相談のワンストップ窓口や、市内企業のサテライトオフィス化等を実現する。これらの取り組みの実績を踏まえ、民間活力による「インキュベーション」整備等に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の特性や誘致すべき企業等について明らかにするため、地元企業や商工会、金融機関等の産業関係者等を対象としたヒアリングなどの調査を実施する。 また、産業を総合的に支援する「共創拠点」を整備する。拠点運営は専属スタッフである「コミュニティマネージャー」が行い、創業者や市内企業の相談をワンストップで受け付けるとともに、セミナー・交流会の開催等を実施する。 拠点の開設に伴い、本市が企業の立地候補地や創業地として選んでもらえるよう、共創拠点を核とした周知活動を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・共創拠点の施設運営（委託料）9,966千円 ・共創拠点を核とした周知活動（委託料）1,463千円						
主なKPI	①地域における新規雇用者数（+68人） ②創業支援等事業の証明書発行件数（+12件） ③産業共創拠点におけるイベント参加者数（+306人）					URL	https://www.city.tondabayashi.lg.jp/soshiki/36/140725.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：小規模・多機能型スポーツ広場整備事業

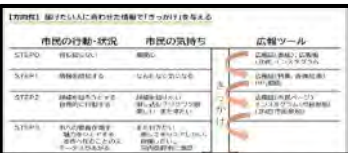
新規

申請者	大阪府寝屋川市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	824,000千円 (824,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・市が主導してスポーツ施設を地域振興の中核に据え、多様な地域産業事業者の参画を得ながら地域経済の拡大を図ることを目的として整備するものであり、当該施設の完成後は各種スポーツイベントの開催を契機に市内外からの集客を促し地場産業や地域経済の振興を図るとともに、地域住民には日常的に利用可能なウォーキングコースを提供して市民間の交流を喚起することを目指す。 ・管理運営については、都市再生推進法人や市内大学等との協働を想定しており、その過程自体が地域に対する経済波及効果を生むことが期待され、地場産業の付加価値向上や新たな販路開拓を通じて地域経済の発展に寄与することに繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・あらゆる世代のスポーツ・レクリエーション活動や防災に資するよう、小規模・多機能型スポーツ広場の整備を行う。 ・メインとなるフットサルコートの周囲は木製デッキを配置し、他にはないフットサルスタジアムのような設えとする。 ・フットサル以外にはバスケット、ボルダリング、グラウンドゴルフ等の子どもから高齢者まで誰でも多様なスポーツができる広場を創出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事 木製デッキ等の新設整備 455,901千円 ・公園本体工事 多目的スポーツ広場の新設整備 368,099千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①20～39歳の社会増加数（+25人） ②施設利用者人数（+188千人） ③スポーツイベントの開催に伴う来場者数（+84千人） ④健康寿命（男性）（+0.625歳） ⑤健康寿命（女性）（+0.625歳）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

事業概要：産官学民連携によるオール河内長野の地域活性化事業

継続

申請者	大阪府河内長野市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	92,088千円 (9,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	河内長野市の様々な団体や個人が、河内長野市に対し愛着や誇りを感じ、様々な事業に主体的に参加し、行政とともに連携した地域活性化が進んでおり、それら関係者の「つながり」によるオール河内長野でのまちの魅力発信により、多くの関係人口が流入し、その結果、定住人口が増加し、若い世代が流入することで、人口バランスが健全化し、多様な住民が住み続けている豊かなまちの創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・KFFの完全自走に向けた運営強化を進め、加えて駅前市有地を活用したマルシェや体験イベントの開催、電源・ベンチの設置・防草対策等の簡易整備を実施し、交流と回遊性を高める賑わい空間の形成を図る。 ・市制70周年・万博催事で形成したEXPOメンバー1,000人を、市の未来をともにつくる担い手として位置づけ、行政・市民・事業者・団体が協働する機会を創出する。 ・大学生との商店街活性化プロジェクトの具体化や、東京大学先端研との連携による教育・産業の取組を推進し、多様な主体のつながりを地域活性化と魅力向上につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・河内長野駅周辺地区賑わい創出社会実装事業（委託料） 5,000 千円 ・つながる河内長野1,000人活用事業（委託料等） 1,800千円 ・地域特性を生かしたまちづくり事業委託料 3,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲5,953人） ②KFFオンラインコミュニティ参加団体・参加者数（+230者） ③つながる河内長野事業参加者（+2,500人） ④KFF連携による事業開催数（補助対象事業を除く）（+22回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途等） https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/32/119585.html （効果検証） https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/25/16911.html

申請者	大阪府河内長野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	130,483千円 (45,325千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・急激に増加することが予想される空き家ストックの有効活用を図り、空き家が増加しない仕組みを構築する。 ・誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができる環境を構築する将来像の実現をはかる。 ・「消滅可能性自治体」「将来財政窮乏度ランキング全国1位」になった本市のネガティブなイメージを払拭し、新たな住民の呼び込みや地域の活力を向上させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・増加する空き家を地域資源として活用するため、空き家調査と所有者支援体制を整備、古民家の利活用や流通促進を進め、転入促進と移住の受け皿を確保する。 ・高齢者が安心して暮らし続けられるよう、公共交通や近距離移動支援を強化、地域医院等の遠隔診療の導入を支援、医療を受けられる環境を整備する。 ・企業連携等によりまちの魅力と機能を高め、マーケティング戦略に基づくシティプロモーションを展開。市民・事業者・行政で、転入促進と持続可能なまちづくりを進める。					○空き家の循環促進事業  高野街道古民家活用	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・空き家流通促進支援事業費：6,008千円 ・まちの魅力創造・交流促進事業：13,066千円 ・共感の広がり発信事業：8,050千円					○暮らし続けられる環境整備事業  遠隔診療体制構築	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①住宅空き家数（▲80件） ②年度内転入者数（+80人） ③年度内転出者数（▲600人） ④年間出生者数（▲80人） ⑤河内長野市が好き、興味があると感じている人数（+68,000数） ⑥連携企業数（+30社）					○まち魅力向上・転入促進事業  シティプロモーション	
						○オープンカンパニー  オープンカンパニー	
					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途等) https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/32/119585.html (効果検証) https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/25/16911.html	

事業概要：（仮称）南花台中央公園 にぎわい施設整備事業

継続

申請者	大阪府河内長野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	116,800千円 (106,300千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	子育て世代が魅力を感じる開発団地の再生として、現在整備が進んでいる大規模都市公園内に、カフェ機能を持たせた「にぎわい施設」を整備することで、公園への来訪理由を増加させるとともに、滞在時間の延長、交流機能の向上を生み出し、単なる公園ではなく、市内外から遊びに来た多様な人々が交流することができる地域活性の場とし、まちの魅力を最大限高め、「訪れたいくなる」、「つながりたいくなる」、「暮らしたいくなる」上記将来像の実現を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和7年度、令和8年度に拠点整備（設計業務、建設工事）を行い、令和9年度春から夏には民間による施設運営を開始し、コミュニティカフェ機能によるまちの賑わいを創出する。また、効果促進事業では、令和8年度に公園オープンに向けた持続的なにぎわい創出のイベントを実施する。					完成予想イメージ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・（仮称）南花台中央公園内の「にぎわい施設」整備に係る工事費及び工事管理費 105,000千円 ・オープニングイベント・応援イベント事業費 1,300千円					公園全体平面図  	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①南花台地域の人口（±0人） ②施設売上げ高（+1,300万円） ③施設利用団体数（+30団体） ④ワークショップ、イベント参加人数（+300人） ⑤住みつづけたいと考えている人の割合（+11.2%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途等） https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/32/119585.html

事業概要：まちの賑わいの好循環を創造する拠点機能強化推進事業

継続

申請者	大阪府河内長野市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	47,946千円 (16,891千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	河内長野市最大の地域活性・交流ハブ拠点である道の駅「奥河内くろまろの郷」の機能向上を図ることで、交流人口の拡大に伴う定住人口の増加や観光振興、地域経済の活性化等につなげ、にぎわいや活力に満ちたまちの創造を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 道の駅「奥河内くろまろの郷」エリアの駐車場増設工事及び既存の駐車場白線や緑化ブロック、植木等の撤去、新たな白線や緑化ブロックの敷設を実施する。また、道の駅低利用地エリアにおける子供向け遊具の設置及び施設内に観光客向けのデジタルマップを設置する。加えて交流人口や子育て世代の転入、地域経済の直接的な効果が見込まれる道の駅地産地消レストランを拡張する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 子供向け遊具を設置及び観光客向けのデジタルマップの設置工事 ・遊具設置工事 6,891千円 ・デジタルマップ設置工事 10,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年度内転入者数（+140人） ②地域経済循環率（+5.5%） ③市内に訪れた観光客（日帰り）の消費額（+250万円） ④河内長野が好き、興味があると感じている人数（+128,000数）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途等） https://www.city.kawachinagan.o.lg.jp/soshiki/32/119585.html

申請者	大阪府河内長野市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	162,380千円 (13,780千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少・少子高齢化が進んできた河内長野市では、空き家活用を契機に若者の転入が生まれ始めており、今まさに地域再生のターニングポイントを迎えている。本市の将来に向けて、多世代交流を促す移動支援、スポーツ・交流型イベントを核とした多世代交流、若者を応援しまちづくり参画を推進する仕組み構築を進めることで、市民の暮らしと安全を守ることにより、世代を越えて人が関わり続ける持続可能な地域づくりを行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 南花台中央公園がオープンし、寺ヶ池公園のリニューアル検討を契機に、拠点を結ぶ移動手段の充実、多世代の交流を生む場の創出、若者のまちづくり参画を進める。具体的には、多世代交流を支えるまちづくりと移動支援の価値向上事業、公園リニューアル及びスポーツ・交流イベント事業、若者のまちづくり参画・人材育成事業を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・多世代交流を目指したまちづくりプラットフォームの構築（委託料等）6,500千円 ・スポーツイベントによる多世代交流・若者参加機会の創出（委託料）1,680千円 ・地産地消によるおいしい学校給食の多世代への発信（委託料）1,000千円						
主なKPI	①転入/転出の率（+18.60%） ②若年（0-14歳）人口の転入超過（+251人） ③このまちに住みたいと感じる割合（+0.30点） ④まちに愛着と誇りを感じる割合（+0.40点） ⑤市公式SNSのフォロワー数（+68,498人） ⑥公共交通人口カバー率（±0%）					URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的用途等） https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/32/119585.html （効果検証） https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/25/16911.html

事業概要：人と仕事と暮らしをつなぐ拠点創出事業

新規

申請者	大阪府河内長野市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	150,881千円 (8,671千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・市民のつながりを広げ、地域の支えあいの中で仕事と子育て・介護等を両立できる環境を整える。 ・こどもから大人まで、多世代がごちゃまぜに集まる場所と機会を創出することで、交流人口が増え、若年層から高齢層まで出番と役割のある魅力ある地域づくりを進める。 ・働きたい人が自身の状況に合わせて働けるような環境を創出することで、持続可能な地域経済の循環が起き、地域の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内のコミュニティ・高齢者福祉の拠点である「あやたホール」「くすのかホール」の2施設を「多世代が集い、すべての人が地域で活躍でき、多様な働き方の推進と地域内経済循環を生み出す拠点」へとリニューアルさせ、多世代が活躍し、望む形で働ける地域づくりを実施する。						(※) イラストは 改修イメージ 生成A Iに より生成。
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域ワークショップ実施（報償費）150千円 リニューアルにあたり、地域ワークショップにより地域住民の意向を十分に反映させるとともに、地域のつながりを強固にし、支えあいの機運を高める。 ○拠点整備事業 ・実施設計業務（委託料）8,521千円 「あやたホール」を先行して改修するため、実施設計を行う。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①両施設所在小学校区（小山田小学校区・川上小学校区）の人口（▲556人） ②両施設の延べ利用者数（+29,100人） ③地域の雇用に資する取り組みに関わった人数（+750人） ④両施設所在小学校区における地域ワークショップの延べ参加人数（▲16人） ⑤市民の社会活動への参加率（+0.1%） ⑥両施設所在小学校区（小山田小学校区・川上小学校区）において「まわりの人が困っていたら手助けする」と答えた市民の割合（+4.90%）					URL ※交付金の具体的 使途・実施体制・効果 検証の結果及び 改善方策への反映 が記載されている URL	<a href="https://www.city.kawachinagan
o.lg.jp/soshiki/25/16911.html">https://www.city.kawachinagan o.lg.jp/soshiki/25/16911.html

事業概要：スケートボードパークを核としたまちづくり事業

継続

申請者	大阪府松原市					初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	188,080千円 (16,040千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・スケートボードに係るPRやスケートボードパークでのイベントを通じて、市内のこども・若者世代に対するシビックプライドを醸成するとともに、市外からの認知度の向上及び人口の流入促進を目指す。 ・市外からの若者世代を中心とした人の呼び込み、周辺産業の創出を図ることで当市が”選ばれるまち”としての持続的な発展につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「スケボーのまち」実現に向けた協議会の構築、調査、戦略策定等の体制整備および方針の策定を行う。立案したアクションプランに基づき、スケートボードパークを活用したイベントの企画や運営等賑わい創出プロジェクトを行う。また、プロモーションビデオの制作およびSNS広告を活用したPR事業等の個別事業を実施する。加えて、トップボーダー育成プロジェクトや産業振興プロジェクトを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○官民連携協議会の構築・運営事業 ・協議会設置・運営業務（委託費）1,844千円 ○教育機関やスポーツ団体と連携したスケートボード体験会事業 ・無料体験会を実施、スケボー部のPR等（委託費）1,345 千円 ○スケートボードパークを活用した賑わい創出事業 ・スケートボード大会の実施（委託費）12,851千円						
主なKPI	①20～39 歳転入超過数（+202人） ②観光入込客数（+8,100人） ③スケートボードパーク年間利用者（16,200人） ④スポーツ関連産業企業数（+3社）					URL	https://www.city.matsubara.lg.jp/docs/1410967.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

申請者	大阪府松原市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	74,134千円 (18,750千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	市内や府内周辺地域での催事等を通じ、観光コンテンツや地場産品等の魅力を継続して発信することで、本市の認知度向上に繋げ、交流人口の増加による地域経済の活性化及び市内住民の定着化を推進を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内だけでなく府内の大規模な催事で観光コンテンツや地場産品の魅力を広く発信し、インバウンドを含む市外の方に本市認知してもらうだけでなく、本市の魅力を3年間にわたり市内周辺地域でのイベントやデジタルメディア等を通じて広域かつ継続的にインバウンドや市内在住者に向けて、発信することでインバウンドを含む観光客の更なる誘客を図るとともに在住者の定着化も推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○松原市PR事業 ・イベント企画・プロモーション費（委託料）18,750千円 1年目でインバウンド向け、市内住民向けに行ったイベントや情報発信等を規模を拡大して継続して行うことで事業の定着化を図る。また、本事業で行う市内イベントやプロモーションを多言語対応させる。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+9,000人） ②市内イベントの参加者数（+6,000人） ③転入超過人数（+54人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.matsubara.lg.jp/docs/2654685.html

事業概要：スタートアップ・ベンチャー等支援補助事業

新規

申請者	大阪府松原市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	18,000千円 (6,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・商店街等の空き店舗等を利活用したインキュベーション施設を中心に、若手起業家やIT人材の市内定着を促進し、職住近接の実現を目指す。 ・施設をハブとして、地場産業とIT等の新産業が交わる機会を創出し、市内産業全体のデジタル化や高付加価値化、産業構造の高度化に繋げる。 ・新たなビジネスコミュニティの形成を通じ、市内雇用の創出および将来的な税収基盤の強化を図り、地域経済の持続的な拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 IT産業等を担い起業を目指す若い世代の活動拠点となるコワーキングスペース等のインキュベーション施設を開設する民間事業者に対し、改修費や賃料の一部補助を実施する。民間事業者には創業支援計画の策定を義務付け、商工会議所等と伴走型支援体制を構築することで持続可能な創業支援環境をつくる。これまで拠点を求めて市外へ流出していた若年層や起業家に対し、市内で働く場所を確保することで、将来の納税者である若年世代の定着率向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 【ソフト事業】 ○スタートアップ・ベンチャー等支援補助事業 ・施設整備費、人材招聘費等に対する補助金 6,000千円 市内における創業および新産業の創出を促進するため、コワーキングスペース等のインキュベーション施設を整備する民間事業者に対し、改修費や備品購入費の一部を助成する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内事業者との新規取引件数（+12件） ②松原市商店街空き店舗創業等支援補助金の申請件数及び小規模企業融資等の実行件数（+24件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.matsubara.lg.jp/docs/2654685.html

申請者	大阪府和泉市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	710,592千円 (703,422千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・和泉市立青少年の家を、ハード・ソフト両面で様々な利用活性化策に取り組むことで、全く新たな観光施設に生まれ変わらせ、本市南部地域の交流人口増加の起爆剤となる新たな拠点施設として再整備する。 ・人口減少及び少子高齢化が進んでいる本市の南部地域における交流人口の増加を図り、「まちの個性を伸ばし、新たな魅力とにぎわいが創出されるまち」の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・リニューアルオープンを予定している2027年4月には、リニューアルオープン記念イベントを開催し、リニューアルオープン後も、施設の魅力向上に向けて、継続的に改善を行うため、本施設の利用者になりうる様々なステークホルダーを分野ごとに集め、意見交換会兼施設利用体験会を定期的に開催する。 ・「（仮称）和泉市南部宿泊施設」内装の木質化、各居室の配置の変更や設備の改修、各種備品の調達を行う。また、浴場及び脱衣室の改修及び屋外サウナエリアを設置する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 「（仮称）和泉市南部宿泊施設」再整備及び備品整備 703,422千円						
主なKPI	①近隣の物販施設（道の駅いずみ山愛の里）の売上高（+3,445万3,560円） ②（仮称）和泉市南部宿泊施設における年間利用者数（市外利用者のみ）（+6,626人） ③（仮称）和泉市南部宿泊施設における閑散期（10月～2月）の年間利用者数（+1,357人） ④（仮称）和泉市南部宿泊施設における企業による年間利用者数（+336人） ⑤近隣施設（槇尾山グリーンランド、総合スポーツセンター、南部リージョンセンター、道の駅いずみ山愛の里、いずみふれあい農の里）における利用者数（+21,905人） ⑥（仮称）和泉市南部宿泊施設における利用者満足度（+90.0%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/kousitu/ki-kaku/osirase/23459.html

事業概要：大和川河川敷「（仮称）青谷プレイパーク」整備事業事業

新規

申請者	大阪府柏原市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	131,430千円 (7,700千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	日本遺産「龍田古道・亀の瀬」、亀の瀬地すべり歴史資料館、旧大阪鉄道亀瀬隧道などの地域資源を発信する拠点として、また川下りイベント、ウォーキングやサイクリング、水辺の生物観察などのアクティビティの場として整備を行うことで、新たな地域資源の活用及び人の流れが生まれ、地域の魅力が向上し関係人口・交流人口が増加し、人口減少の抑制と移住促進、地域経済の維持及び拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・周辺にある地域資源へのアクセス性の向上と、川下りイベントの終着点、ウォーキングルートの中継点、E-BIKEを使ったサイクリングの出発点としての利便性を向上させ、子育て世代から高齢者まで、多様な世代が様々な目的で活用できる交流拠点を整備する。 ・新たな交流を生み出すための施設として、トイレ、シャワー、休憩施設、遊戯施設、植栽、防災用ヘリポートを兼ねたイベント広場等を整備する。なお、本事業は、国土交通省大和川河川事務所が整備した護岸の上面を、多機能型公園として整備するものである。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物設計 7,700千円 青谷地区護岸整備の上面を公園として整備するための設計を実施						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市の人口（2032年で▲4,031人） ②公園の利用者数(+19,870人） ③川下りイベントの実施(+3件） ④本地点を拠点とするウォーキングイベント等の実施(+3件） ⑤市が他の主体と協働・連携して実施する事業数（+3件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

事業概要：世界遺産及び日本遺産等観光交流拠点施設整備事業

継続

申請者	大阪府羽曳野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	208,054千円 (32,864千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	世界遺産である古墳群や日本遺産である竹内街道の適切な保存管理と後世につなぐことを第一の目標とし、観光・産業分野に重点を置きながら、観光・交流の取組みを進めるため、市史にも記載されている歴史的価値の高い家屋を活用し、地域との関りを保ちながら、その拠点として、飲食・物販・憩いと交流等の複合的な機能と安全性を兼ね備えた施設に改修し、交流人口の増加、産業の再生と雇用の創出を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 世界遺産と日本遺産に近接し、築100年を超える旧浅野家住宅を再生・利活用することで、ポストコロナを踏まえた新たな観光・交流の拠点として整備する。また、効果促進事業として旧浅野家住宅に係るCM業務を実施する。なお、運営に関しては官民連携手法を用いて、民間資金とノウハウを活用し、創意工夫を最大限に生かした事業運営により、官民連携で地域課題の解決やエリア価値向上に繋げる取り組みをすすめる。					＜施設整備イメージパース図（案）＞ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 実施設計委託料及び設計監修・工事監修に係る委託料 ・設計費 18,900千円 効果促進事業 ・CM業務委託費 13,964千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光関連産業売上高（+2億5千5百万円） ②施設来場者数（+104,000人） ③地域との交流イベント実施回数（+62回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.habikino.lg.jp/sos/hiki/shichou/seisakusuishin/regional_creation/17627.html

事業概要： オール門真による「ものづくり」ブランディング事業

継続

申請者	大阪府門真市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	127,232千円 (27,845千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市の基盤産業である「製造業」の活性化を図り、域外受注の獲得や域内受発注の連携、高付加価値化、新たな製造業の誘致やスタートアップの促進により、雇用と所得の拡大を実現し、人口減少局面においても市民が幸福な生活を送り、持続可能なまちとなることを目指す。 ・本事業を通じて、受注機会の創出、人材確保、関係人口の増加が促進され、企業の収益力向上と地域経済の好循環が生まれることによる経済成長を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、上記目的を達成するために、市及び市内企業等が連携し、本市の基幹産業である製造業について、その魅力を更に向上させ、就労者並びに大手企業・進出企業に訴求可能なブランディング戦略を実行する。具体的には①製造業としての「門真ブランド」の発信事業②「製造業で働く」魅力の向上と発信事業③「オール門真」での連携支援体制の構築事業を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○機械要素技術展大阪への出展（委託料等）22,093千円 ○企業の労働環境の向上や魅力向上・発信、カーボンニュートラル推進に資する取組等に対する補助金 5,700千円 ○門真市ものづくり産業振興懇話会委員報酬：51千円						
主なKPI	①市外から門真市に対する新規マッチングによる成約金額（+1.7億円） ②支援を実施した事業所における従業員増加数（+320人） ③支援を実施した事業所におけるインターンシップ受入れ増加数（+158人） ④支援を実施した事業所における一般見学者の受入れ人数（+2,394人）					URL	※交付金の具体的な 使途・実施体制・効果 検証の結果及び 改善方策への反映 が記載されている URL
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							

事業概要：「地域魅力Reブランディング」事業

継続

申請者	大阪府門真市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	74,617千円 (21,217千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・戦略的なプロモーションにより、関係人口や交流人口の増加につなげる。 ・地域の歴史や文化を活かし、本市の個性や強みを引き出して、定住人口や関係人口の増加を促進するとともに「ものづくりのまち門真」のブランドを確立する。 ・市外でのイベントを活かし、ヒト・モノ・情報を集結させ、他都市や世界とのつながりを深め、新たな価値創造を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 門真市ふるさと大使による戦略的な魅力発信事業において、市内での活動を広く情報発信することで市への関心を高め、市民のシビックプライド醸成につなげる。また、市域外でのイベントで展開した本市の魅力向上につながる取組を市内で継続的に行う。加えて、本市のウェブサイトやSNS（Instagram、YouTube等）、デジタルサイネージにより、地域の魅力発信を行う。					   	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・門真市ふるさと大使への業務委託料：9,910千円 ・オーケストラ演奏委託費：3,977千円 ・音楽サロン事業委託料：140千円 ・旅費（市内中学生バス代）：950千円 ・会場借り上げ料：240千円 ・コンサート開催プロモート業務委託料：6,000千円						
主なKPI	①社会増減数（増加人数）（+138人） ②門真市公式SNSフォロワー数（+10,842人） ③門真市ふるさと大使による配信動画再生回数（331,000回） ④門真市ふるさと納税寄附件数（+76,130件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kadoma.osaka.jp/soshiki/kikakuzaisei/2/4/3/3/35459.html

事業概要：マーケティング手法を活用したシティプロモーション推進事業

継続

申請者	大阪府門真市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	67,858千円 (22,387千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・子育て世代に向けた様々な取組を実施してきたものの、転出超過を抑制できていないため、効果的な取組を進めるため、マーケティング手法を用いてこれまでの取組の効果検証及びデータ分析により子育て世代のニーズを正確に捉える。 ・消滅可能性自治体からの脱出を図るため、主に20代～30代の女性をメインターゲットとした効果的なシティプロモーションを行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 マーケティングの観点から、子育て世代への支援策の効果を検証するとともに、市の保有するオープンデータや子育てに関するデータの分析を進め、ターゲット層に向けた市の魅力を発掘や、各種SNS・マスメディア等を用いて魅力を発信し市の認知度を向上させるとともに、効果的なランディングツールを検討する。また、発信に対するターゲット層の反応等のデータ分析を継続し、ニーズに合わせた施策を検討する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○マーケティング手法を活用したシティプロモーション推進事業 実証事業のための負担金補助及び交付金等 22,387千円 ターゲット層に向けた市の魅力を発掘、各種SNSやマスメディア等を用いて魅力を発信し市の認知度を向上、効果的なランディングツールの検討等を行う。						
主なKPI	①20代から30代の女性人口（+100人） ②Instagramフォロワー数（+3,000人） ③Instagram投稿数（+300回） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kadoma.osaka.jp/soshiki/kikakuzaisei/2/4/3/3/35459.html

事業概要：若者・女性が活躍できる地域の働き方等推進事業

継続

申請者	大阪府門真市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	78,302千円 (34,349千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・消滅可能性自治体からの脱出を図るため、若者・女性にとって働きやすく魅力ある職場を地域に創出し、若者・女性の流出を防ぐとともに、若者・女性から選ばれるまちをめざす。 ・特に子育て中の女性など、就業意欲があるにもかかわらず、働きやすい条件や環境が整っていないことを理由に、職に就くことができない潜在的就労層と企業側のマッチングを進めることで、多様な人材が活躍し、性別や世代を問わず誰もが安心して暮らし、働き続けられるまちの実現を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 子育て中の女性等を対象としたワークショップを開催し、ニーズを把握する。次に、ワークショップで得られた実態を踏まえ、地元企業の経営者層を対象とした研修を実施し、企業側の意識改革に取り組む。また、SNS等を活用した新たな採用戦略を展開するとともに、事業者の事業内容や職場の雰囲気等がわかる魅力発信動画を作成する。加えて、定住促進や外部からの転入を伴う就職を促進すること目的に、エンゲージメント調査を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ◆人材確保対策事業 ・モデル事業者を好事例として横展開・マッチング機会の創出（委託料）12,949千円 ・子育て中の女性等を対象としたワークショップを開催（委託料）2,501千円 ・AI等を活用した採用戦略（委託料）6,820千円 ◆人材定着支援事業 ・エンゲージメント調査を実施（委託料）11,067千円						
主なKPI	①20代から30代の女性人口増加数（+100人） ②市内事業所における新規雇用者数（+36人） ③市内事業所におけるインターンシップ受入数（+10人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kadoma.osaka.jp/soshiki/kikakuzaisei/2/4/3/3/35459.html

事業概要：かどま経済活性化・つながり創出プロジェクト

新規

申請者	大阪府門真市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	142,728千円 (40,797千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・若年層が日常的に集い、交流し、消費や活動を行う場を創出することで、市外への消費流出を抑制し、地域内でお金が循環する仕組みを構築する。 ・マーケット等を通じて地域事業者と消費者を直接つなぎ、販路拡大や新たな顧客層の獲得を促進することで、地場産業を含む地域経済全体の活性化を図る。 ・交流や経済参加を通じて若年層の地域への愛着と定住意識を高め、将来的な担い手・消費者を確保することで、人口減少下においても持続可能な地域経済の基盤を強化する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・再開発が進む駅前周辺エリアを主なフィールドとして、若年層をメインターゲットとしたマーケットやイベント等を実施し、日常的な賑わいと人の流れを創出することで、若年層が集い、滞在し、消費や交流を行う機会を増やし、域内消費の拡大と地域経済の活性化を図る。 ・若年層を対象に、出会いや交流の創出に加え、地域事業者や多様な人材との接点を設けることで、若年層の経済活動への参加と地域との関係構築を図るとともに、交流イベント等を通じて、結婚やキャリア形成に関するライフデザインの意識醸成を促すとともに、本市における仕事、消費、地域活動の実情に触れる機会を提供する。					 新たな賑わい・域内消費創出事業 若者つながり創出事業 エリアの賑わいづくりに向けた低未利用地の活用検証 若者を対象とした交流イベントの開催等	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・エリアの賑わいづくりに向けた低未利用地活用検証（委託料）26,510千円 ・若者向け交流イベント等の開催（委託料）14,287千円						
主なKPI	①20代から30代の人口増加数（+150人） ②若者つながり創出事業におけるイベント参加者数（+900人） ③居住意向変化（「門真に住みたい・住み続けたい」回答率の上昇）（+15ポイント） ④対象区域における民間主導のイベントの来場者数（+265人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kadoma.osaka.jp/soshiki/kikakuzaisei/2/4/3/3/35459.html
	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						

事業概要：大阪・関西万博を契機としたシティプロモーション推進事業

継続

申請者	大阪府藤井寺市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	248,895千円 (82,152千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・大阪・関西万博を契機に、観光拠点整備や多彩なプロモーションを展開することで、地域資源の認知度向上と交流人口の拡大を図る。 ・公共交通網の整備や周遊性向上を通じ、地域経済の活性化と持続可能な地方創生の基盤強化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光拠点アイセルシュアホールの整備、デジタルやメディアを活用したシティプロモーションの展開、公共交通整備や店舗支援による市内周遊促進を通じて、交流人口の拡大や観光消費、ふるさと納税の促進を図り、万博閉幕後も持続可能な地域活性化につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○アイセルシュアホール観光拠点運営事業 ・管理・運営経費（報酬等）：12,048千円 ・観光案内所運営費（負担金） 5,000千円 ○シティプロモーション推進事業 ・観光プロモーションの素材作成（委託料） 4,569千円 ・プロモーションイベント開催費（補助金・負担金） 8,951千円 ○周遊促進事業 ・公共交通の検討・実証運行（委員報酬等）：23,989千円 ・商品開発、販路拡大支援（補助金）：10,000千円						
主なKPI	①直近4か年の転入者数の平均（+300人） ②藤井寺市の年間観光来訪者数（+26,000人） ③アイセルシュアホール年間来館者数（+13,000人） ④ふるさと納税寄付額（+1.9億円） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fujiidera.lg.jp/sos/hiki/seisakukikaku/seisakusuishin/os/hirase/21142.html

事業概要：東大阪市自動運転バス実装プロジェクト事業

新規

申請者	大阪府東大阪市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	271,160千円 (24,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・通勤・通学・生活の足の確保し、回遊性を確保した市の中心拠点エリアに賑わいを創出する。 ・バスを自動運転化することで、運行コストを削減し、交通事業者の安定した操業環境をつくる。 ・自動運転バスは、単なる製造業の『製品』ではなく、人手不足や交通空白地帯という地域課題を解決し、デジタル技術によって交通・物流・生活支援を統合する『新たな地域サービス産業』であるため、付加価値を域内で循環させることに繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・産学官連携によるコンソーシアムを立ち上げ、目的達成に向かって各々で役割分担をしながら、完全‘民間事業’による自動運転バス（レベル4）の商業運行をめざす。 ・自動運転バスには、貨客混載を組み合わせ、地域の商業事業者の担い手不足を解消する。 ・対象区域内で民間事業者が実施している社会実験「自動貨物輸送ロボット」へ自動運転のシステム共有化などを図る。					 【レベル4での自動運転バスの実装対象区域】市の中心拠点(長田・荒本駅周辺エリア)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・運行業務委託費（委託料）23,800千円 自動運転バスの導入に先駆け、通常の路線バスを運行しながら、需要及び運行上の課題の把握し、合わせて需要の喚起を促す。 ・印刷製本費、消耗品費 700千円 社会受容性の構築にかかるパンフレット作成、アンケート調査、バス停看板など実証実験を行うための経費。						
主なKPI	①長田駅・荒本駅勢圏における将来予測人口に対する増勢人数（+1,200人）					URL	https://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000042064.html
	②バスの利用者数（+100人／日）						
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：産×官×学共創による成長戦略「Sennan L.I.P」ブランド創造事業

継続

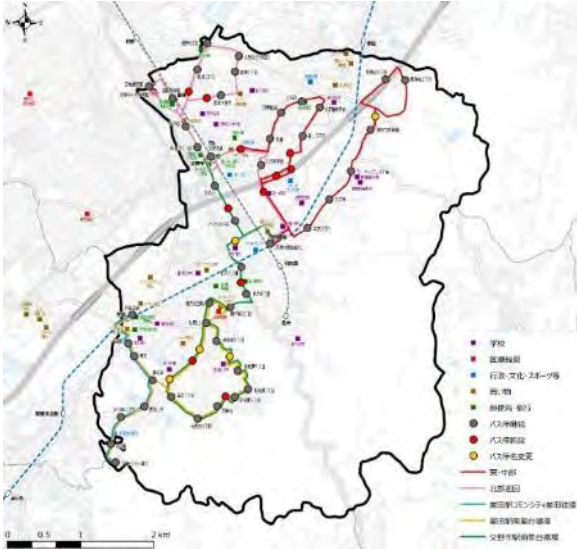
申請者	大阪府泉南市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	62,525千円 (22,975千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・市内事業者を中心とした公民連携プラットフォームの構築やウェブサイト運用を通じて、行政と企業が連携し、市内外に向けて地域の魅力や取組を発信することにより、地域内経済の発展を目指す。 ・地域課題解決に取り組む新規事業支援と効果検証を行い、今後の課題解決のための参考データを蓄積するとともに、自走化を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内事業者を中心としたプラットフォーム構築による研修会等の実施や公民連携によるシティブランディングを推進するためのウェブサイトの構築を行う。また、地域課題解決のための実証実験を実施する事業者に対する支援を行うとともに、空き物件の利活用促進と情報提供体制の構築も進める。また、国内事業者約3,000社へのニーズ調査等を実施し、事業者の移転ニーズや企業誘致に備えた受入れ体制を整備する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○公民連携プラットフォーム活用運営業務 ・ポータルサイト運用及びプラットフォームの運営（委託料）6,789千円 ○課題解決実証実験業務 ・民間提案による課題解決実証実験補助（補助金）5,000千円 ・官民連携による課題解決実証実験（委託料）2,500千円 ○事業用地等調査業務 ・事業用地ポータルサイト運営及び事業用地マッチング業務（委託料）8,230千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新たな本市への投資企業数（+18件） ②新たな商品開発数（+12件） ③新たな販路拡大数（+21件） ④地域における雇用者数（+45人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sennan.lg.jp/kaku-ka/gyouseikeiei/seisakuishin/seisaku/seisaku-keikaku/chiikimiraikoufuki-n/12225.html	

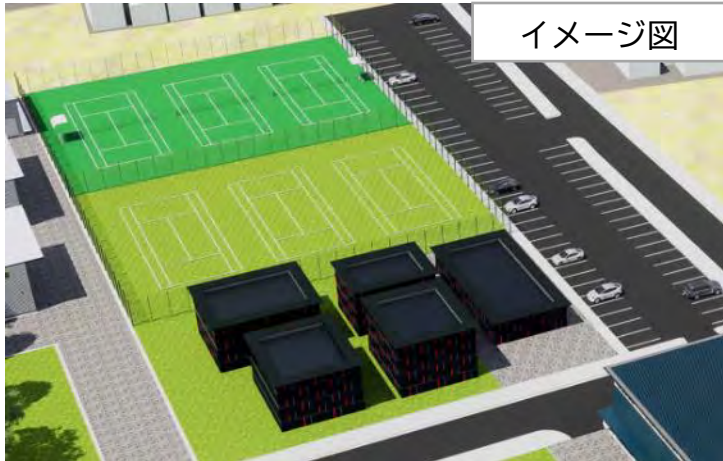
申請者	大阪府泉南市、泉南郡田尻町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	197,460千円 (152,460千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・地域の核となる拠点への支援とその活用を通じて、域内経済の成長を促進するとともに、住民サービスの質の向上を図る。 ・新たな地域拠点の整備に伴い、エリア内の拠点を結ぶ交通網を対象とした実証実験を実施し、将来的な交通需要や人流動向の把握を行う。 ・新たな施設に設置されるビジネス拠点を活用し、子どもたちのキャリア教育の推進や、地域事業者による新たなビジネス創出につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和9年春のオープンが予定されている大阪府営公園「ブリッジパーク」Park-PFI整備事業への支援を行うとともに、周辺環境の整備や地域活性化に向けた取組を実施する。特に、ブリッジパーク内で最大規模の収容人員を誇る「ビーチサッカースタジアム」への支援を行い、開園後における住民利用の促進（利用料の一部減免等）を図ることで、新たな市民の生涯学習環境の整備につなげる。あわせて、周辺地域における関連事業や取組への投資を行い、地元事業者への経済還流を促進するとともに、交流や連携を通じた新たなビジネス創出を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・交通誘導サイン設置（補助金） 3,900千円 ・まちづくり連携促進イベント開催（補助金） 4,000千円 ○拠点整備事業 ・ビーチサッカースタジアム新設整備工事 144,560千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①エリア全体の関係人口、交流人口数（+260万人） ②ビジネスセンターでの登録者数（+60人） ③周辺地域等でのイベント開催数と参加人数（+14件） ④エリア3駅の乗降者数（+850人/日）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

申請者	大阪府四條畷市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	78,996千円 (33,490千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・安心な地域内移動手段の確保及び地域主体のアウトドアフィールドづくりを行うことにより、高齢になっても住み続けたいと思えるまちの実現をめざす。 ・地域住民は、外出機会が増えることで、孤独や孤立感を減少させ、ひいては健康寿命を延すことに繋がり、市外在住者などはこれらの取り組みに興味をもつことで、来訪の機会が増えるなど、地域への人の流れの創出を行い、地域の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○ 安心な地域内移動手段の確保事業 車載カメラで信号機の表示色を認識し、システムが通過判断をする実証実験を行う。 ○ 地域主体のアウトドアフィールドづくり 市所有の現況山林を、地域の自然環境学習の場とするため、多様な参加者と協働して、憩いの場を創出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ 安心な地域内移動手段の確保事業 ・信号認識システム設備費：3,726千円 ・実証実験に関わる全体管理・支援委託：14,487千円 ・実証実験に伴う車両改造費：1,150千円 ○ 地域主体のアウトドアフィールドづくり ・植生調査費：3,433千円 ・簡易トイレ設置費：396千円						
主なKPI	①地域内人口（▲90人） ②これからも住み続けたいと思う人の割合（▲5.4%） ③ボランティアの登録者数（+68人） ④③のうち市外在住ボランティア人数（+20人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/33/33941.html

事業概要：地域公共交通の実証運行事業

新規

申請者	大阪府交野市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	188,698千円 (188,698千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・民間バス事業者による市内路線バスの廃止に伴い、現在、市が運行するコミュニティバスのさらなる利便性及び魅力向上を目的とする。 ・市内全域の路線バスを対象に、これまでの民間バス事業者の既存路線を再構築した市による公共交通の実証運行事業を実施。 ・市内・市外からの利用者数の向上を目指し、地域経済の維持・拡大及びまちの賑わいづくり、地域活力の向上に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 コミュニティバスの運行経費に加え、自動音声装置や乗降センサー及びデータ分析サービスの導入、交通系IC決済システムの改修を行う。また、市内観光スポットへのアクセス向上を図るため、観光周遊ルートとしての一面を持たせた新規ルートの設置、バス停留所を地域に親しみのある名称や観光スポットの名称への変更を行う。さらに、本実証運行の結果を踏まえ、令和9年度を目途に新たなコミュニティバスの運行を開始するものである。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・実証運行に関する運行経費（委託料）161,843千円 ・施設整備・設備経費（備品費等）26,855千円 バスロケーションシステムや自動音声装置等の導入・バス標柱デザインデータ作成等を行う。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市への転入者数（+15人/年） ②コミュニティバス一日あたりの平均利用者数の増加人数（+185人/日） ③コミュニティバス一便あたりの平均利用者数の増加数（+11人/便） ④収支率（+2.42%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.katano.osaka.jp/docs/2026052100053/

申請者	大阪府交野市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	675,000千円 (49,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・大阪・関西万博で使用されたルクセンブルクパビリオン施設部材を、本市の廃校跡に子育て支援施設として再生・再利用することで、若者や女性が地域の未来に希望を持ち、安心して働き暮らせる生活環境の創生、地域経済の発展を目指す。 ・本市では、子育て世代の転入超過が継続している背景を踏まえ、子育て施策の推進や地域課題の解消のみならず、万博レガシーの継承、SDGs達成への貢献、資源循環モデルケースの実現、国際交流の深化など、付加価値の高い事業となるよう創意工夫を図る。 ・本事業は、全国的に見ても前例のないシンボリックなプロジェクトであり、地域の子育て環境の質の向上に伴う現役世代の増加、持続可能な社会構築に向けての啓発効果、まちの賑わいづくりの向上など多面的に寄与することを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・本市は、2025大阪万博ルクセンブルク経済利益団体と、持続可能な未来社会の実現という2025年日本国際博覧会の理念を共有し、万博で使用されたルクセンブルクパビリオン施設部材の再生・再利用を通じて、両者の友好交流を深めていくことを目的として協定を締結した。 ・本事業では、パビリオン施設部材（鉄骨躯体等）を再生・再利用し、未就学児と保護者が安心して遊ぶことができる屋内施設と、ボール遊びができる多目的芝生広場を整備するものである。					イメージ図 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・（仮称）交野市子育て支援施設及び芝生広場の設計業務 49,000千円						
主なKPI	①転入超過数（+402人） ②地域子育て支援センターの延べ利用者数（+4,450人） ③地域のつながりや支え合いにより安心して子育てできる」と思う市民の割合（+10%で、90%以上を目指す）					URL	https://www.city.katano.osaka.jp/docs/2026052100053/
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：ただいまとおかえりが響き合うオープンな場所 みんなで集まる居間のような拠点整備事業

新規

申請者	大阪府豊能町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	879,688千円 (845,509千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・地区のにぎわいの拠点として、近隣の民間の飲食施設や商業店舗と連携し、将来にわたり拡張・発展しながら地区の魅力を向上し、地域経済・地域コミュニティの活性化を目指す。 ・拠点の整備によって、多様な人々や多世代の交流、新たなつながり、コミュニティを育み、町内外の人が集まるなど地域の活性化と交流人口・関係人口が増加し、地域経済の維持及び拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 町内外の人が集まる拠点として直売所や加工場、カフェ等が入居する地域活性化施設を整備する。また、住民の文化活動や憩いの場となっている中央公民館、高齢者の生きがいづくりや社会参加の場となっている永寿荘、町民の交流促進の場となっているふれあい文化センター等の施設を複合化し、多様な人々や多世代の交流や新たなつながり、コミュニティを育む交流の拠点として複合化施設を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「(仮称)豊能町立コミュニティセンターと豊能町国民健康保険診療所の複合化施設」及び「(仮称)豊能町立地域活性化施設」の建設工事 683,592千円 ・建設予定地にある既存施設の除却解体工事 161,917千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増減 (±0人) ②マルシェ等のイベント実施数 (+12回) ③新規事業者数 (+3者) ④地場産品等売上額 (+9,531千円)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：大阪湾つながる海の旅づくりプロジェクト

継続

申請者	大阪府岬町、兵庫県洲本市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	222,354千円 (78,690千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・デジタルマーケティングを活用して観光客データを分析し、地域の事業者と一体となってテーマ性のある体験型観光プラン開発する。 ・観光地訪問の起点となるビジターセンターを整備し、観光案内や体験型プランの情報発信拠点として地域内での回遊性を高める。 ・大阪湾の対岸に位置する両市町が連携し、温泉やアウトドア、文化遺産を活用した体験型プランやツアーを開発し、魅力を発信することで、大阪湾南部の観光ネットワークを形成し、観光振興を通じて地域経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光客データを用いたマーケティング調査を実施・分析し、ターゲット層を明確化したうえで、大阪湾を横断する海上ルートの構築とそれに連動した岬町・洲本市を中心とする広域観光プロモーションを行うとともに体験型ツーリズムの造成・実施を行う。加えてみさき公園駅前に観光拠点としてビジターセンターを整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・観光デジタルマーケティング調査（委託料）2,000千円 ・広域観光プロモーション（委託料）2,500千円 ・大阪湾つながる海の旅推進業務（委託料）54,627千円 ・大阪湾つながる海の旅施設等使用料（使用料及び賃借料）1,649千円 ・体験型観光商品開発（委託料）4,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①経済波及効果（+3.7億円） ②海上アクセス利用者数（月間）（+1,600人） ③SNSのフォロワー合計数（+4,000人） ④体験型ツアー参加者数（+2,400人） ⑤体験型ツアーの参加者満足度（+95%） ⑥ビジターセンター利用者数（11,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.misaki.osaka.jp/soshiki/matidukuri/kikaku/matihitosigoto/2559.html https://www.city.sumoto.lg.jp/soshiki/7/

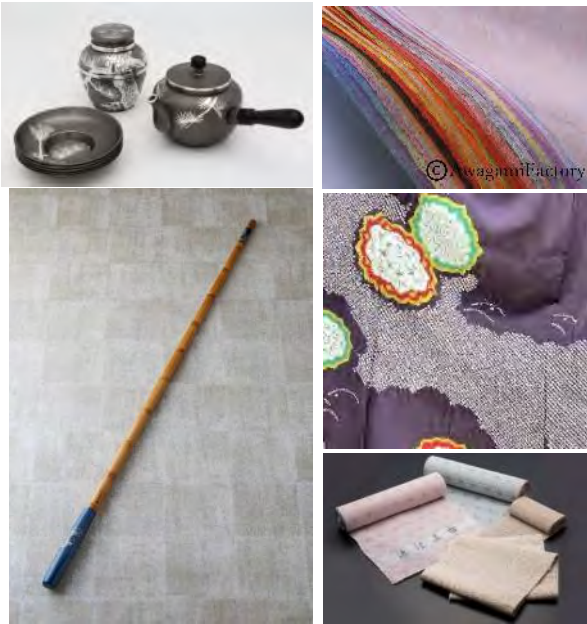
事業概要：河南町地域公共交通サービス推進事業

継続

申請者	大阪府河南町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	105,000千円 (105,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本町では、バス事業が全面廃止されたため、ICT環境に対応する新型車両を導入により利便性の向上、利用者の増を図る。 ・運行ルートの最適化や交通結節点の整備による環境整備により町内の公共交通人口カバー率を引き上げることで、誰もが移動しやすく、住みやすいまちづくりの実現に向けて、持続可能な地域公共交通の構築を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 キャッシュレス決済機能の導入及びバスロケーションシステム等のICT環境に対応した新型車両の購入を行う。また、運行ルートの最適化や交通結節点の整備による環境整備により持続的な地域公共交通の構築を行う。						

事業概要：伝統的工芸品産業活性化モデル推進事業

継続

申請者	関西広域連合					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	19,022千円 (3,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・売り上げの減少や後継者不足により事業継続が難しくなっている各地域の伝統工芸品産業の持続的発展に向けて、国内外から多くの人々が訪れる万博の機会も活用し、各産地において需要開拓から人材確保の好循環を実現するための取組モデルを創出する。 ・本モデルを横展開することで、各伝統的工芸品産地事業者や組合等の新たなチャレンジを促進し、地域産業の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 伝統工芸をはじめとしたものづくり産業を取り巻く課題を共有し、その解決の方向性を提案するとともに、実践の一つとして伝統的工芸品に関心がなかった国内外の多くの方々に実際の使用イメージが湧きやすいように工夫した空間での展示や伝統的なものづくりに触れられるワークショップの開催等、体験期間を提供する。さらに、伝統的工芸品について興味のある若者等に伝統工芸士等との交流を通じて伝統的工芸品産業の魅力を実感できる機会を提供する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○関西各地域の伝統的工芸品産地の特徴的な製品や受け継がれてきた技術等の発信による需要の開拓のため、関西を訪れる旅行者も含めた伝統的工芸品を知らない方が多く集まる場所でイベント等を開催するための会場使用・装飾代等 ・イベント開催費（運営委託料）3,800千円						
主なKPI	① 新たに伝統的工芸品産業の担い手を獲得した産地数（+8産地） ② 万博会場での展示会、トークセッション、ワークショップののべ来場者数（+3,300人） ③ 2年目のイベントの来場者数（+300人） ④ 2年目のイベントにおいて商談件数が増加した事業者の割合（+80%） ⑤ セミナー参加者の伝統工芸産業への興味・関心が高まった方の割合（+75%） ⑥ 取組モデルを横展開した産地数（+47産地）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/jisijimu/sanshin/vision/index.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値